

目 次

目 次	1
I 2023（令和5）年度の主な活動	3
*2023（令和5）年度入館者一覧	4
II 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	8
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	14
4) 3階企画展	23
5) ぶんぱく京都講座	27
III-2 特別展示	28
*2023（令和5）年度特別展一覧	35
III-3 映 画	35
1) 常設上映	35
2) 特別企画・共催事業	38
3) 映像ギャラリー常設展示	40
III-4 京都学・歴彩館における展示	41
IV 調査研究活動	42
IV-1 学芸員の活動	42
1) 研 究	42
2) 出講・委嘱	42
3) 業 績	43
V 普及活動	45
V-1 出版物	45
1) 研究紀要『朱雀』	45
2) 年報	45
3) 展覧会図録	45
V-2 音楽会	46
V-3 京都アート・クラフトマーケット	46
V-4 学習普及外部連携室	46
1) ボランティア	46
2) 生き方探究チャレンジ体験	47
3) 団体見学案内	47
V-5 博物館実習	48
V-6 資料・情報公開	48

1) 資料閲覧室	48
2) 広報	48
V-7 外部連携活動	49
1) 他館との連携	49
2) 京都府内の学校との連携事業	49
3) 地域との連携	49
V-8 京都文化博物館友の会	51
1) 会 員	51
2) 事業概要	52
V-9 文化財保護基金室	52
1) 貸付け事業	52
2) 文化財保護に関するよろず相談	52
3) 文化財保護の啓発普及	52
V-10 「福寿園・お茶の文化賞」	53
V-11 京都文化博物館 開館35周年感謝企画事業	53
VI ギャラリー事業	55
VI-1 5・6階展示室	55
1) 美術・工芸作家の利用	55
2) 京都文化財団展示室運営委員会	56
3) 生涯学習の発表期間の利用	56
4) 一般の利用	58
VI-2 別館ホール	58
VII 管理・運営	61
VII-1 組織と職員	61
1) 組 織	61
2) 京都文化財団	61
3) 京都文化博物館	62
VII-2 施 設	63
1) 本館関係	63
2) 別館関係	63
VII-3 館内店舗	66
1) ろうじ店舗一覧	66
2) 別館店舗一覧	66
3) 博和会・ろうじ店舗行事	66
VIII 2023（令和5）年度のあゆみ	67

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2023(令和5)年度の 主な活動

I 概要

新型コロナウイルスによるパンデミックが去り、ようやく落ち着きを取り戻してきたが、すべてがコロナ禍以前に戻ったわけではないということを強く感じた一年でもあった。何よりもまず、当年度開催展覧会は、コロナ禍に計画、準備しなければならなかったため、準備中の制限はもちろんのこと、開催にあたりどのような対策が必要か、流通問題などで開催の障害となる要件はどの程度解消しているのか、人の動きはどうなるのかなど、暗闇の中での推測で動かなければならなかった。昨年の「鈴木敏夫とジブリ展」や「ゴールデンカムイ展」など若者を中心に展覧会へ足を運ぶ人はかなりいることは分かっていたが、年配層にファンが多い従来からの美術展や歴史展については、急激な回復とまではなかなかいかない。この傾向は外部関係者からも他地域や他館においても見られる傾向として耳にするところである。

さて、令和5年度は、開館35周年の節目にあたり、10月1日から12月27日までの間に、総合展示の無料開放日や特別イベント、連続無料コンサート、オリジナルグッズが当たるスタンプラリーなどを行った。

特別展は、春に「大名茶人織田有楽齋」(4/22～6/25)を開催した。建仁寺塔頭・正伝永源院の要望を受けたことを機に、当寺に伝わる文化財を再度調査し、ここで得られた知見をもとに400回遠忌にあたる織田有楽齋という人物を改めて見直し再評価した展覧会で、後日東京へも巡回している。

続く「発掘された珠玉の名品少女たち」(7/15～9/10)では、有名作家の作品展というよりは、独特の審美眼をもって収集されたことで知られた星野画廊のコレクションで、明治、大正、昭和の少女を描いた日本画、洋画の作品を紹介した。

秋には、名古屋市博物館蔵の浮世絵コレクションを中心とした「もしも猫展」(9/23～11/12)を開催した。この期間は当初、中国の某所名品展を予定していたが、結果的にコロナや運送費用の関係で中止となり、急遽の開催となったものであった。5年前にも同じく浮世絵の「猫展」を開催していたため、心配がなくてはなかったが、猫人気は相変わらずの結果となった。

「Kyoto Art for Tommorrow 2024」(2024/1/20～2/4)では、京都を中心に活動する若手作家を紹介し、次世代を担う作家たちを京都から発信していくことを目的に開催している展覧会で、今年度は41名の作家の作品を紹介した。昨年度の同展の最優秀賞受賞者山本真澄氏を別館ホールにゲスト作家として招聘した。

「コスチュームジュエリー」(2024/2/17～4/14)では、シャネルやディオールなどのものを含むデザイン重視のコスチュームジュエリー約400点を紹介する稀少な機会となった。

また当年度は、大規模な総合展示を二つ開催した。ひとつは、秋に調整をしていた某アニメ展の開催が難しくなり、所蔵品を中心に企画した「異界へのまなざしーあやかしと魔よけの世界ー」展である。もうひとつは、板橋区立美術館と三重県立美術館とともに巡回展として企画した「『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」である。総合展示としての開催ではあるが、ともに充実した内容で注目を集め、多くの来場者を得た。

2階総合展示では、大河ドラマで人気のテーマを視野に、「足利将軍、戦国を駆ける」「徳川家康とその時代」、新春には「紫式部と『源氏物語』」等を企画、総合展示としては15のテーマの展示で紹介した。

3階映画・フィルムシアターでは、今年もさまざまな映画関係機関等と連携を図り、「日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告」「ぴあフィルムフェスティバル」「UCF3:UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL 3」など多彩な共催事業をはじめ、世界各国から若手映画作家を招く「京都フィルムメーカーズラボ」のワークショップなどを実施した。

今年度は5階貸展示室の壁面クロス全面貼り替え(12/19～1/15)にあわせて、一部LEDスポットライトの刷新が行われた。利用状況については、5、6階貸展示室全体としては、前年度の104%となり、別館ホールは、件数で

上に利用日数が大幅に増えるなどコロナ禍以後の回復傾向が見られた。

さらに、今年度は2階総合展示室内の「京の至宝と文化」の北室に壁面ケースが新設された。同「京の歴史」室の展示リニューアル計画が本格化し、2025年の春に向けて、急ピッチで検討および基本設計を進めた。

2023(令和5)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2023.4	2,397	1,616	4,013	3,492	5,822	9,314	5,889	7,438	13,327	6,710	1,631	8,970	17,311	6,845	37,483
5	2,294	1,918	4,212	5,557	1,991	7,548	7,851	3,909	11,760	4,311	1,475	13,805	19,591	7,386	38,737
6	2,539	2,354	4,893	5,704	2,732	8,436	8,243	5,086	13,329	2,946	1,510	7,513	11,969	6,597	31,895
7	4,272	2,789	7,061	2,005	1,156	3,161	6,277	3,945	10,222	1,375	1,609	7,916	10,900	6,123	27,245
8	2,153	2,413	4,566	4,156	2,298	6,454	6,309	4,711	11,020	1,169	481	5,448	7,098	5,591	23,709
9	2,520	1,880	4,400	5,521	2,456	7,977	8,041	4,336	12,377	563	2,416	6,111	9,090	6,280	27,747
10	1,758	2,676	4,434	13,958	2,787	16,745	15,716	5,463	21,179	3,823	3,618	34,045	41,486	8,740	71,405
11	2,814	3,074	5,888	7,933	4,013	11,946	10,747	7,087	17,834	1,266	5,983	18,919	26,168	7,437	51,439
12	6,624	3,809	10,433	2,472	11,540	14,012	9,096	15,349	24,445	3,794	4,005	6,745	14,544	5,570	44,559
2024.1	7,773	4,207	11,980	8,715	17,393	26,108	16,488	21,600	38,088	243	2,430	3,316	5,989	5,004	49,081
2	4,442	2,538	6,980	6,775	6,151	12,926	11,217	8,689	19,906	1,459	4,087	24,148	29,694	5,959	55,559
3	4,275	2,276	6,551	9,688	2,226	11,914	13,963	4,502	18,465	2,954	2,946	7,047	12,947	8,027	39,439
年度計	43,861	31,550	75,411	75,976	60,565	136,541	119,837	92,115	211,952	30,613	32,191	143,983	206,787	79,559	498,298
1日平均 (総310日) (特211日)	141	102	243	360	287	647	387	297	684						

Ⅱ 資料の収集・利用

Ⅱ 概要

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館（旧京都府立総合資料館）所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を京都学・歴史館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および京都学・歴史館で行うとともに、収集、利用等の業務を当館で行っている。

なお、2023年度末での管理資料は55,450点、寄託資料が398点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	資料名	点数	寄贈者
陶芸	坪井明日香「化身と道化」ほか	12	坪井良之
民具	宝船図（288枚）	1	稲垣義一
陶芸	四代赤沢露石（正中）「交趾喰籠」ほか	4	五代赤沢露石（嘉則）
陶芸	林康夫「声」ほか	13	林康夫
漆芸	伊藤裕司「額田女王」ほか	4	伊藤裕司
考古	土器・瓦考古遺物類（京都市立北白川小学校旧蔵品）	1	京都市立北白川小学校 校長 藤林弘之
日本画	洛中洛外図屏風（六曲一双）ほか	3	松居晃子
歴史	脇差（備前国住長船祐定／永禄六年二月吉日）	1	津国美智子
日本画	気象図 北小路竹窓筆（三幅対）	1	森川正子
日本画	西久松吉雄「神樹」ほか	3	西久松吉雄
日本画	山水図屏風 円山応震筆（六曲一双）	1	影山純夫
陶芸	島津製作所標本部撰定 陶磁器製造順序標本	1	福岡県立糸島高等学校 校長 荒木礼子
日本画	國府克「松涛」	1	國府克
洋画	今井憲一「(貝)」ほか	7	今井柳子
洋画	中野庸二「MIDORI TOKIDOKI (house)」	1	中野良子
		小計 54点	

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	歴史資料	95件1384点	美術工芸	228件234点	考古	19件510点					342件2128点
管理資料	日本画	9件 30点	陶 器	1件 89点	民 俗	9件271点	武 具	2件 5点	染 織	3件 3点	24件 398点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
考古	旧日本銀行京都支店金庫棟外壁赤れんが ほか	2	舞鶴市立赤れんが博物館	常設展
考古	複弁蓮華文軒丸瓦 ほか	2	向日市教育委員会	常設展
日本画	誓願寺門前図屏風	1	徳川美術館	企画展「人間讃歌—江戸の風俗画—」
考古	平安京左京三条三坊一町出土 備前焼大甕	2	備前市埋蔵文化財管理センター	常設展
考古	京都御苑発掘出土の黒曜石石核	1	同志社大学歴史資料館	石材鑑定
考古	曇華院跡出土資料 ほか	15	京都市考古資料館	企画展「技と美—三条通のいまむかし—」
考古	平尾城山古墳出土 家形埴輪 ほか	48	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	企画展「家形埴輪の世界」
考古	雲林院跡出土資料	9	京都市文化市民局	企画展「源氏物語 祈の抄—深山に残された平安の宝—」
考古	平安宮豊楽殿跡 均整唐草文軒平瓦 ほか	3	大阪府立近つ飛鳥博物館	春季企画展

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
日本画	堂本元次「白壁の土蔵」ほか計17点	17	堂本印象美術館	展覧会「生誕100年記念 堂本元次」展に出品のため
洋画	太田喜二郎「少女」ほか計3点	3	目黒区立美術館、高梁市成羽美術館、新潟県立近代美術館	展覧会「ベルギーと日本」に出品のため
日本画	木島櫻谷「儒客探芝図」ほか計8点	8	公益財団法人泉屋博物館	特別展「木島櫻谷—山水夢中—」に出品のため
陶芸	中島清「鉄釉ふで投つぼ」ほか計3点	3	京都国立近代美術館、岐阜県美術館、岡山県立美術館	展覧会「走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」展に出品のため
日本画	清水豊「加悦の家並」ほか計5点	5	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
洋画	南大路一「久見浜湾」	1		
陶芸	松風栄一「染錦盒子棹の里」	1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため
日本画	佐久間草偃「雪舟模大聖世尊像」	1	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	展覧会「画人たちの仏教絵画—如春斎再び!」に出品のため
日本画	西久松吉雄「古の社—糠田野神社」ほか計6点	6	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
漆芸	伊藤裕司「梅開上苑」ほか計2点	2	堂本印象美術館	展覧会「第4回京都工芸美術作家」展に出品のため
日本画	中尾英武「三岳山金光寺」ほか計6点	6	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	山口素絢「炭手前」	1	茶道資料館	展覧会「炭道具 美味しい一椀を」に出品のため
日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか計3点	3	出光美術館	展覧会「生誕300年記念 池大雅—陽光の山水」に出品のため
日本画	猪熊佳子「杜の壟」	1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため
漆芸	下出祐太郎「漆屏風「爛漫」	1	下出祐太郎（会場：粟宙庵）	展覧会に出品のため
洋画	松崎政雄「フィンガーペイント」	1	板橋区立美術館、三重県立美術館	展覧会「シュルレアリスムと日本」に出品のため
日本画	綾田勝義「袖志の棚田」ほか計4点	4		
洋画	吉村勲「疏水端の桜」ほか計2点	2	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
書	近衛文麿「夢」ほか計2点	2	アサヒグループ大山崎山荘美術館	展覧会「蘭花譜と大山崎山荘」に出品のため
日本画	菊池容斎「雨中太夫道中図・揚屋差紙」	1	東京藝術大学美術館	展覧会「大吉原展 江戸アメーザング」に出品のため
日本画	富岡鉄斎ほか「七生之巻」	1	京都国立近代美術館、富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館	展覧会「没後100年 富岡鉄斎」展に出品のため

合計 19件 70点

2) その他

【館蔵資料・管理資料担当】

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 42件 71点 特別観覧 15件 26点／管理資料：撮影・利用 16件 22点 特別観覧 10件 33点

寄託資料—持ち出し・貸与

	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館資料	版画	あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料	153	NHKサービスセンター	展覧会
館資料	日本画	堂本印象「おぼけ（花街の節分会）」	1	堂本印象美術館	展覧会
管理資料	民俗	緋羅紗地波濤飛魚文様刺繍水引窓絵唐草文様綴錦（左後）	1	公益財団法人四条町大船鉾保存会	事業
管理資料	民俗	祇園祭鯉山毛繒見送 ほか	8	公益財団法人鯉山保存会	祭礼
管理資料	民俗	神功皇后御天冠 ほか	27	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
管理資料	民俗	光琳百花図屏風	1	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
管理資料	民俗	緋威小札大鑑 ほか	4	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
管理資料	民俗	神功皇后御福頭 ほか	3	公益財団法人四条町大船鉾保存会	修理

Ⅲ 展示活動

Ⅲ 概要

京都文化博物館は、昭和63年の開館以来、京都の歴史や美術・工芸、文化を紹介する施設としての役割を担ってきたが、平成23年にこれまでの固定的な常設展を一新し、四季折々に「ほんまもん（京都の至宝やゆかりの名品）で体感する」を基本コンセプトに、名称を「総合展示」と改めるとともに、国宝・重要文化財を含む多様な展示にフレキシブルに対応できる展示室を整備した。京都市内で唯一、京の通史を紹介する〈京の歴史〉ゾーンを核とし、ここでは語り尽くせないテーマを様々な角度から取り上げ「ほんまもん」で紹介する企画展示ゾーン〈京の至宝と文化〉〈京のまつり〉から構成されている。館蔵資料、管理資料、寄託資料をはじめ、他の美術館や博物館、寺社などの貴重で多彩な名品の数々で、展示内容や規模によって3階展示室も柔軟に利用しながら京都文化を紹介している。永い歴史に育まれた京都文化を語るには総体的な展示スペース不足の問題があるが、規模は大きくなくとも年間14～15に及ぶ質の高い企画展を展開しており、多様で重層的な京都文化の様々な側面を幅広く来館者に楽しんでもらっている。

Ⅲ-1 総合展示

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として変貌を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの

政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。

【〈京の歴史〉ゾーン 展示資料】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈* *〉
絵巻回廊		2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
デジタル資料 近代都市京都の誕生		7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館
		8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館
		9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮
		10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館
		11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
		12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト
		13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈* *〉
		14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局
		15	古写真 疏水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局
		16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局
		17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館
		18	古写真 ウイーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館
		19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
		20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館
		21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館

デジタル資料	近代都市京都の誕生	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館
		23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター
		24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<*>
		25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター
実物資料	京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点	<*>
	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<*>
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<*>
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<*>
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	<*>
		31	土器 雲林院跡出土	37点	<*>
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<*>
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
	中世都市市民の生活	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
		35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	<*>
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<*>
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<*>
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<*>
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
		40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
近世町人のなりわい	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<*>	
	42	京童	1冊	<*>	
	43	都名所図会	1冊	<*>	
	44	つぼつぼ	9点	<*>	
	45	でんぼ	1組	個人	
	46	伏見人形 布袋	1点	<*>	
	47	伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
	48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<*>	
	49	柄鏡	1点	<*>	

※所蔵欄 <*>印の資料は京都府立京都学・歴史館(旧総合資料館)蔵(当館管理)、<*>印の資料は当館蔵

2)〈京のまつり〉ゾーン

① 近現代の型染

会期：2023年4月15日(土)～6月11日(日)

概要：鎌倉時代から南北朝にそのルーツを求めることができ、型染は、桃山時代に技法的な完成をみたあと、江戸時代に完成度が高くなり、人々の衣生活を彩った。近代になり、化学染料が取り入れられると、多色染が可能になり、型染の世界には大きな可能性が開かれていった。本展で

は、京都府収蔵品の型染による染織文化財の中から、小紋染、型友禅、紅板締により染められた近代の着物の優品を紹介した。

出品資料数：15件

担当者：林 智子

ギャラリートーク

5月12日(金)、6月9日(金) 午後2時～

「近現代の型染」出品目録

No.	資料名	時代	作者
1	轡に秋小紋蔦襷文様着物		明治時代
2	変り七宝文様着物、花入七宝楓文様下着		明治時代初期
3	重ね菊枝小紋垣に菊文様下着		明治時代初期
4	貉菊文様着物		明治時代中期
5	木目小紋竹垣風景丸文様下着		明治時代～大正時代
6	流水渦文様着物		明治時代末期～大正時代初期
7	二重鮫小紋染着物	株式会社小糸染芸	大正8年（1919）
8	斜取り小紋着物	株式会社小糸染芸	大正14年（1925）
9	鮫小紋御所解文様訪問着	株式会社小糸染芸	昭和49年（1974）
10	枕慈童文様振袖、七宝草花文様下着		明治時代
11	松葉小紋着物、桜菊牡丹文様下着		大正時代
12	雪の輪に竹文様下着		明治時代
13	霞に春秋草文様着尺（復元）		平成23年（2011）
14	型板 渦文様 ほか		明治時代～大正時代
15	型紙 麻の葉七宝紅葉文様 ほか		明治時代～昭和時代

* 出品作はすべて京都府蔵（京都文化博物館管理）

② ～室町幕府滅亡後450年～祇園祭－足利将軍が見た山鉾巡行－

会 期：2023年6月17日（土）～8月13日（日）

協 力：公益財団法人 祇園祭山鉾連合会

概 要：祇園祭の歴史は平安時代初期にさかのぼり、都の安寧を脅かす疫神の退散を願った祭儀に由来するとされている。それから幾多の年月を経て、今から700年ほど前には山や鉾の姿が登場しはじめ、室町時代には現在のような絢爛豪華な山鉾巡行の原型が整えられた。

室町時代は京都に幕府が開かれ、足利家が代々将軍職を受け継いでいたが、歴代の将軍も山鉾の巡行を見物した。その様子は貴族や

武家の日記などに記されている。2023年は、15代将軍足利義昭が織田信長によって都を追放されて室町幕府が実質的に滅亡してから450年となる。そこで、足利将軍が山鉾巡行を見物した様子などが記された京都府所蔵の資料を公開して、当時の様相を紹介した。

出品点数：20点

担当者：橋本 章

ギャラリートーク

6月22日（木）、7月11日（火）午後2時～

出品資料一覧

No	資料名	年代	員数	所蔵	展示期間
1	『康富記』	文化12年（1815）6月写	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期
2	『二水記』四	江戸時代後期写	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期
3	『建内記』永享十一年六月・嘉吉元年六月	江戸時代前期写	2冊	京都府立京都学・歴史館	通期
4	『年中恒例記』	江戸時代写	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
5	『年中定例記』	嘉永元年（1848）写	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
6	『真如堂縁起』下	明治14年（1881）刊行	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
7	『殿中申次記』伊勢貞遠	原本・永禄7年（1564）	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
8	『伊勢備後守覚悟記』全 伊勢貞明	原本・室町時代後期	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
9	『集古十種 古画肖像』	明治38年（1905）刊行	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
10	洛中洛外図屏風（松居家本）	江戸時代後期	6曲1双	個人蔵	通期
11	月鉾模型	昭和時代	1台	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期

12	放下鉾模型	江戸時代後期	1台	京都府蔵（京都文化博物館管理）	通期
13	紅地壁縮緬繡三國志模様祇園祭放下鉾稚児衣裳	明治時代	1領	京都府蔵（京都文化博物館管理）	7月19日～8月13日
14	衣裳人形「祇園祭鉾稚児」	昭和34年（1959）	1躰	京都府蔵（京都文化博物館管理）	7月19日～8月13日
15	前懸（中央）タペストリー「イーリアス」より（裁断片） ／（左右）波濤に飛龍文様・中国刺繍官服（裁断片）	（中央）16世紀後半 （左右）18世紀中頃	1枚	公益財団法人白楽天山保存会	通期
16	鷹山御神体人形衣装（鷹遣）	令和5年（2023）	一式	公益財団法人鷹山保存会	6月17日～7月17日
17	鷹山御神体人形衣装（犬遣）	令和5年（2023）	一式	公益財団法人鷹山保存会	6月17日～7月17日
18	鷹山御神体人形衣装（樽負）	令和5年（2023）	一式	公益財団法人鷹山保存会	8月1日～8月13日
19	鷹山御神体人形図	天保2年（1831）	1幅	公益財団法人鷹山保存会	7月19日～7月30日
20	長刀鉾模型	昭和時代	1台	京都文化博物館	7月19日～7月30日

③ いけばなの世界展

会 期：2023年8月19日（土）～10月15日（日）

概 要：「いけばな」とは自然の草花や樹木を素材として、器に活ける日本独自の伝統的芸術で、古くは花を神の依代として神聖化し仏前に供えたのがはじまり。その形式の成立は、室町時代の座敷飾の室礼から発展する。南北朝から室町時代後半にかけて中国の唐絵、唐物の流入が増加し、これらの鑑賞に適した場所として床の間が発生。足利義政の頃から床飾りの方式が整備され、側近の同朋衆が多種多様な芸能分野で活躍するが、その中に文阿弥のように花をたてることを専門にする名人が現れる。そこに「たて花」、のちに「立花」と呼

ばれる様式が誕生。このスタイルを大成させたのが二代池坊専好で、その後、池坊立花は最盛期を迎える。江戸時代の半ばころには、型を重視する池坊に対して、草木花の自然のありのままの姿を生かす「^{なげいれ}抛入花」も愛好され、町人たちにも裾野はひろがり、様々な流派が生まれた。本展は、2022年に京都府に寄贈された宮本溪雄氏のコレクションを中心にいけばなの歴史を辿った。

出品数：42件

担当者：畑 智子

ギャラリートーク

8月24日（木）、9月21日（木）午後2時～

「いけばなの世界」展 出品リスト

構成	番号	資料名	作者	年代	所蔵
プロローグ いけばなの源流	1	春日社 千切花	鈴木瑞彦	明治	京都府蔵（京都文化博物館管理）
	2	やすらい祭	山口素絢	文化元年（1804）	京都府蔵（京都文化博物館管理）
1 立花の成立	3	花籠図		江戸初期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
	4	青蓮院宮尊朝法親王書（初代専好宛）	尊朝法親王	桃山時代	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
	5	君台観左右帳記	真相	江戸後期	京都府立京都学・歴史館*
	6	仙伝書	原/富阿弥 開版/西村又左右衛門	寛永20年（1643）	京都府立京都学・歴史館*
	7	生花之間書之絵図	毛利作右衛門/34世池坊専養識	元禄10年（1697）	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
	8	大竹二重切花生	梶井慈胤法親王	江戸時代前期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
	9	池坊専好立花圖卷		元禄14年（1701）	京都府立京都学・歴史館*
	10	立花砂物圖	大住院以信	延宝6年（1678）	京都府立京都学・歴史館*
	11	砂物雛型之図	英松軒	天保12年（1841）	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
	2 いけばなの隆盛	12	蘭石図	40世池坊専定	江戸時代後期
13		丹頂双鶴図	40世池坊専定	江戸時代後期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
14		池坊専定書状	40世池坊専定	江戸時代後期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
15		「一枝梅花和雪香」	41世池坊専明	江戸時代後期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
16		立花生花図	鶴立	嘉永6年（1853）	京都府蔵（京都文化博物館管理）*
17		竹花生 銘：春の友	40世池坊専定	江戸時代後期	京都府蔵（京都文化博物館管理）*

2 いけばなの隆盛	18	銅渦巻文花瓶		江戸時代後期	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	19	置き舟 銘：浦風	43世 池坊専啓	大正一昭和時代	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	20	瓢形銅花入 銘：春の友	42世池坊専正 識	明治時代	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	21	竹花筒 銘：立鶴	42世池坊専正	明治時代	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	22	銅竹節文下蕪立花瓶			京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	23	銅月形耳遊環付薄端立花瓶			京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	24	銅龍紋水盤			京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	25	色絵笙形花生		江戸時代後期	京都府蔵 (京都文化博物館管理)
	26	銅青海波文松皮菱砂鉢	金屋五郎三郎	江戸時代後期	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	27	女重宝記		元禄5年 (1692)	京都府蔵 (京都文化博物館管理)
	28	男重宝記		寛政2年 (1790)	京都府蔵 (京都文化博物館管理)
	29	抛入花傳書		貞享元年 (1684)	京都府立京都市学・歴史館*
	30	源氏活花記	千葉龍卜	明和2年 (1765)	京都府立京都市学・歴史館*
	31	古流生花四季百餅圖	是心軒一露	安永7年 (1778)	京都府立京都市学・歴史館*
3 近代のいけばな	32	青山御流活花手引種	桂月園泰雅	寛政12年 (1800)	京都府立京都市学・歴史館*
	33	遠州流挿花百瓶圖式	如月菴馬丈	文化2年 (1805)	京都府立京都市学・歴史館*
	34	挿華常盤艸		明治時代前期	京都府立京都市学・歴史館*
	35	瓶梅図	西川一草亭	昭和4年 (1929)	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	36	「山青花欲燃」	西川一草亭	昭和前期～中期	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
4 いけばな文化の伝播	37	花籠図	西川一草亭	昭和5年 (1930)	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	38	瓶史	西川一草亭編		京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
	39	竹尺八花筒	西川一草亭		京都府蔵 (京都文化博物館管理)*
エピソード 現代のいけばな	40	The Floral Art of Japan	Josiah Conder	1891/2004	京都府立京都市学・歴史館*
41	現代立花之図	宮本溪雄	昭和53年 (1978) 頃	京都府立京都市学・歴史館*	
42	立花図屏風	宮本溪雄	昭和50年代 (1981) 頃	京都府蔵 (京都文化博物館管理)*	

*は旧宮本溪雄コレクション

④ 町のちから II - 阪東屋町文書の世界 -

会 期：2023年10月21日（土）～ 12月17日（日）
 概 要：2020年、京都市中京区阪東屋町（東洞院通錦小路下ル）に伝わる内藤家旧蔵文書が京都府に寄贈された。古文書を伝えた内藤家は、江戸時代には装飾料紙の生産・販売を担う商人として著名で禁裏御用も勤めており、また江戸時代後期には、京中富裕町人の名誉職である禁裏駕輿丁号も獲得し、家格を向上させた一族である。

商業活動の一方、内藤家は町の役人も勤め、旧蔵の中には町有文書（町の運営に伴い作成された文書群）が確認される。本展は、これら内藤家旧蔵文書を中心に、あわせてその関連資料も集め、江戸時代の町運営の実態や有力商人の実像について展覧したもの。

出品数：29点

担当者：西山 剛

ギャラリートーク

10月25日（水）、11月15日（水）午後2時～

「町のちから II」出品リスト

番号	史料名	和暦 年月日	作成者・差出	宛先	員数	法量
1	諸控帳	(文久3年亥～慶応頃)			一冊	16.0×7.5
2	請状之事	明治元年年辰9月	請人大宮下魚ノ棚下ル町永徳屋長兵衛 (印) 引取人東洞院錦小路上ル町万屋庄輔 (印) 町用人加賀屋卯之助 (印)	東洞院通坂東屋町御年寄様、御町中様	一枚	30.8×90.0
3	宗旨請状之事	明治元年年辰9月	本願寺御門跡御役寺大橋正林寺 (印)	年寄、町中	一枚	27.5×39.2
4	送り一札之事	明治元年年辰10月	七条堀川八百屋町年寄重治郎 (印)		一枚	24.4×32.8
5	覚 (金借用二付)	明治5年壬申7月	荒井卯之助 (印)	御町中	一枚	24.0×22.5

6	証文之事（町内召使い二付）	明治6年2月	用人荒井卯之助（印）妻糸い（爪印）	御町中	一枚	27.8×62.0
7	拝借金証書	明治7年10月10日	御町用人荒井卯之助（印）妻糸い	坂東屋御町中様	一枚	27.0×38.4
8	奉願口上書（禁裏御用御末広地紙調進二付御用提灯下渡願書）	天保12年丑10月	東洞院通四条上町御用砂子屋美濃地仲ヶ間御所給屋半右衛門（印抹消）	土佐守様	一枚	33.5×47.8
9	以書付奉申上候〔控〕（上納の扇子不出来二付）	嘉永6年丑6月	御召御扇子撰師御所給屋半右衛門、御扇子折師扇屋九甫	茶屋御役所	一枚	24.5×59.9
10	一札之事〔写〕（美濃地紙画付売買京都へ一切致さない事）	天保8年酉5月27日	伏見藤の森前大坂屋治郎平判	御用紙講御仲ヶ間御役中衆中様、御用砂ノ子屋御仲ヶ間年行事様	一枚	29.0×46.0
11	乍恐口上書〔案〕（御用砂子屋・砂子屋共合帳にて帳面差上げ二付）	弘化3年年7月	御用砂子屋商売人給屋半右衛門、砂子屋商売人近江屋半兵衛・金紙屋新助	御奉行様	一綴	24.0×15.7
12	惣砂子屋職来歴写	〔嘉永6年カ〕丑12月	惣砂子屋仲間両年行事		一綴	23.2×14.2
13	一札之事下書〔控〕	安政3年10月	紙漉兄頭部井上長兵衛、総代	御用砂子屋美濃地仲間年寄給屋半右衛門殿	一枚	24.5×54.0
14	定（仲ヶ間取引二付）		御用砂子屋仲間年寄、惣砂子屋仲間両年行事（印 年行事差配）	御得意中様	一枚	24.5×24.5
15	砂子屋操地屋申合之写	安政5年午8月	御所給屋半右衛門、ひしや半兵衛、清水屋徳兵衛、平野屋直三郎、饗庭屋藤左衛門		一冊	24.8×16.8
16	絵師書状巻	江戸時代 19世紀	塩川文麟他		一巻	
17	百老図	文久元年（1861）	塩川文麟	-	一幅	1863×1292
18	山水図扇面色紙団扇貼交屏風	江戸時代 19世紀	塩川文麟／鈴木百年	-	六曲一隻	167.0×271.8
19	寛政四年光格天皇遷幸図絵巻	寛政4年（1792）	松倉直照	-	二巻のうち一巻	
20	親類書	天保15年辰4月	内藤兵部 泰祐之34才（内藤半右衛門祐之34才）		一枚	33.3×42.4
21	御東幸御道筋	〔明治元年10月〕	内藤氏		一冊	23.5×8.0
22	御東幸御道筋記	〔明治元年10月〕	右近府駕輿丁内藤蔵人		一冊	12.3×17.5
23	福田求馬書状	5月朔日当賀	福田求馬	内藤兵部様	一枚	15.7×30.6
24	北村加平書状	8月朔日	北村加平	禁裏御所御内藤兵部様	一枚	15.2×41.9
25	橋本和泉守書状	10月29日	橋本和泉守	内藤半右衛門様	一枚	15.9×53.3
26	竹岡主計書状	11月12日	竹岡主計	内藤兵部様	一枚	16.2×33.0
27	橋本和泉守書状	霜月18日	橋本和泉守	内藤半右衛門様	一枚	15.8×44.7
28	中川与兵衛書状	極月2日	中川与兵衛	内藤兵部大官人	一枚	16.5×98.5
29	御用砂子屋美濃地仲間元株印札	明暦3年御免			一点	18.5×10.2×厚さ1.5

*所蔵はすべて京都府（京都文化博物館管理）

⑤ シュルレアリスムと京都

会 期：2023年12月23日（土）～2024年2月18日（日）
 概 要：フランスの詩人たちから始まり、各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼしたシュルレアリスムは、やがて京都を拠点とする画家たちをも魅了した。2024年は、『シュルレアリスム宣言』を発表してから100年になる。本展では、京都におけるシュルレアリスムの需要

と展開をたどると同時に、シュルレアリスムが京都の画家たちにもたらした影響とその可能性を探る機会とした。

出品資料数：17件、その他資料

担当者：清水智世

ギャラリートーク

12月23日（土）、2024年1月19日（金）午後2時～

「シュルレアリスムと京都」作品リスト

No.	作家	作品名	制作年	素材	所蔵
1	北脇昇	眠られぬ夜のために	1937	油彩・キャンバス	京都市美術館
2	小牧源太郎	民族病理学（祈り）	1937	油彩・キャンバス	京都市美術館
3	小牧源太郎	風景（意識と無意識の離接点における偶成）No. 2	1939	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
4	今井憲一	原生林	1938	油彩・キャンバス	京都市美術館
5	伊藤久三郎	帽子その他	1932	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
6	伊藤久三郎	山	1939	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
7	伊藤久三郎	村	1940	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
8	小牧源太郎	木の葉仏	1945	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
9	北脇昇	朱と紫	1945	油彩・キャンバス	京都市美術館
10	小牧源太郎	迦楼羅炎（A）	1947	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
11	小牧源太郎	稲荷図 no. 2	1947	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
12	伊藤久三郎	風景	1948	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
13	今井憲一	郷愁	1953	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
14	松崎政雄	はにわ	1963	ガッシュ、紙	京都府（京都文化博物館管理）
15	松崎政雄	はにわ	1963	クレパス、紙	京都府（京都文化博物館管理）
16	松崎政雄	二つの埴輪	1964	ガッシュ、紙	京都府（京都文化博物館管理）
17	松崎政雄	だるま	1964	ガッシュ、パステル、紙	京都府（京都文化博物館管理）

その他、資料

⑥ 雛人形名品展

会 期：2024年2月24日（土）～4月7日（日）
 概 要：京都府には、江戸時代からの様々な人形とその関連資料が収蔵されており、例年、上巳の節句（桃の節句）にあわせた展示を行っている。本年は、京都府コレクションから選りすぐった雛人形の優品とあわせ、宮中をはじめ京都の公家の間で愛された御所人形などを紹

介した。また、雛人形の文化的背景を多面的に紹介するため、江戸時代後期から明治時代の装束より、袴や袴ほろや袴うちきを展示した。

出品資料数：15件

担当者：林 智子

ギャラリートーク

2月27日（火）、3月12日（火）午後2時～

「雛人形名品展」出品目録

No.	資料名	時代	展示期間
1	雛人形 立雛	江戸時代後期	通期
2	雛人形 元禄雛	江戸時代中期	通期
3	雛人形 享保雛	江戸時代中期	通期
4	雛人形 有職雛	江戸時代後期	通期
5	雛人形 有職雛	江戸時代後期	通期
6	雛人形 古今雛	江戸時代後期	通期
7	雛人形 古今雛	江戸時代後期	通期
8	雛人形 古今雛	江戸時代後期	通期
9	雛人形 大礼雛	昭和2年（1927）	通期
10	御所人形 びんぶく童子 ほか	江戸時代後期	通期
11	雛道具	江戸時代から明治時代	通期
12	縫腋袍 赤地輪無唐草文	明治時代	通期
13	袴 紫雲立涌綾地白梅丸向鳳凰文	明治時代	通期
14	袴 萌葱花菱亀甲地文白牡丹丸文	江戸時代から明治時代	通期
15	女乗物	江戸時代後期	通期

* 出品作はすべて京都府蔵（京都文化博物館管理）

3) <京の至宝と文化> ゾーン

① 桃山陶器に出会う 桃山デザイン

会 期：2023年4月8日（土）～6月4日（日）
 概 要：桃山時代、それまでの日本工芸史上にない、
 新たな工夫のこらされた陶器が多数生み出さ
 された。いわゆる「桃山陶器」である。当館界
 隈の三条通は桃山陶器を扱う店が軒を連ねた
 場所である。当地の発掘調査によって、バラ
 エティーに富む桃山陶器が発見されており、
 考古学関係者のみならず現在のアーティスト
 たちの注目を集めている。本展では、京都市
 立芸術大学畑中研究室の特別協力のもと、桃

山陶器に影響を受けて新たに創作された現代の
 アート作品を出土品とあわせて紹介した。当館
 で長年取り組んできた「アートと考古学」の連
 携をいっそう進めることができた。

特別協力：京都市立芸術大学畑中研究室

出品資料数：96件

担当者：村野正景

ギャラリートーク

日 時：4月29日（土・祝）、5月21日（日）午後2時～

講 師：畑中英二氏、村野正景、出品作家

「桃山陶器に出会う 桃山デザイン」 出品リスト

No	構成	資料名	出土地/作者等	時代	所蔵・管理
1		金箔瓦	上京区両御霊町ほか（聚楽第跡）	桃山時代 16世紀末	京都府埋蔵文化財調査研究センター
2	プロローグ	柄鏡	吉川観方コレクション	江戸時代 17世紀前半	京都府蔵（京都文化博物館管理）
3		平安城東西南北町並之図	—	江戸時代 17世紀中頃	古代学協会蔵（京都文化博物館寄託）
4		三条通の町屋跡出土陶器	中京区菱屋町（曇華院跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都文化博物館
5	出土資料と 出会う	茶陶類	中京区龍池町（平安京左京三条三坊十一町）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都文化博物館
6		京都銀座跡出土陶磁器・土器	中央区龍池町（平安京左京三条三坊十町）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都文化博物館
7		片桐且元書状	—	桃山時代 17世紀	京都府蔵（京都文化博物館管理）
8		志野鉄絵双耳壺	中京区場之町（三条西殿跡）	江戸時代 17世紀	京都文化博物館
9		本圀寺旧境内出土備前水指	下京区柿本町（平安京左京六条二坊六町）	江戸時代 17世紀	京都文化博物館
10		陶器類	下京区小田原町・東塲屋町（平安京左京六条三坊七町）	江戸時代 17世紀	京都文化博物館
11		茶陶類	中京区梅屋町（平安京左京二条三坊一町）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都文化博物館
12		国内外各地の陶磁器類	下京区傘鉾町（平安京左京五条二坊十六町）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都文化博物館
13	桃山時代と 桃山陶器	青織部 四方形桐文平鉢	中京区四坊堀川町（古田織部正屋敷跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
14	絵画を描く	志野 住吉図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
15		志野 葦と鷺図平向付	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
16		志野 蔓草と鹿図平向付	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
17		志野 仙境図大皿	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
18	桃山動物園	志野 水鳥形水注	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
19		鳴海織部 凸形千鳥梅文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
20		唐津 千鳥大皿	中京区油屋町（烏丸御池遺跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	関西文化財調査会
21		唐津 鷺図水指	中京区油屋町（烏丸御池遺跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	関西文化財調査会
22		総織部 葦に鷺図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
23	桃山植物園	志野織部 十字形鹿兎図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
24		鼠志野 四方形蓬図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
25		志野 四方形萩図大皿	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
26		総織部 瓜図平向付	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
27	桃山の図文	志野織部 四方形杜若図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
28		志野織部 四方形葦図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
29		青織部 凸形変形吊し柿文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
30	桃山の図文	黒織部 水車文茶碗	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市
31		黒織部 網文茶碗	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
32		志野織部 隅欠き楕円形櫛文平向付	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代 16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館

33	桃山の図文	鳴海織部 鋸歯文筒向付	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
34		青織部 四方形市松文筒向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
35		青織部 月形珠繋ぎ縞文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
36		青織部 舟形珠文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
37		青織部 扇形梅花重ね縞文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
38		青織部 吊し柿文筒向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
39		鳴海織部 鍵の手形鋸歯梅花文手鉢	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
40	写し崩され	唐津 網干図平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
41		唐津 葦図平向付	中京区弁慶石町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
42		青織部 洲浜形文字梅鉢文平向付	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
43		鳴海織部 文字三盛亀甲鞠文碗	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
44		赤織部 亀甲三星文碗	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
45	asymmetry	瀬戸黒 茶碗	中京区弁慶石町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
46		織部黒 茶碗	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
47		黒織部 鋸歯文茶碗	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
48		志野 沓茶碗	中京区弁慶石町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
49		高取 片身替沓茶碗	中京区福長町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市考古資料館
50		信楽 水指	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
51		信楽 建水	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
52		信楽 花入	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
53		備前 水指	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
54		備前 花入	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
55		美濃伊賀 水指	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
56		美濃伊賀 花入	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
57		高取 水指	中京区下白山町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
58		高取 花入	中京区中之町（三条せと物や町跡）	桃山～江戸時代	16世紀末～17世紀前半	京都市
59		「駆ける兎傘」ほか	新保璃佐子	現代		個人蔵
60		MOMOYAMA VRAYON	杉本麻衣	現代		個人蔵
61		千鳥	高橋由莉	現代		個人蔵
62		織部焼デザイン	林田恵美	現代		個人蔵
63		美術館併設カフェ/ムシウサギ陶器に還る	増川知乃	現代		個人蔵
64		桃山陶器俳句	三木日菜乃	現代		個人蔵
65		桃山文様の増殖、展開」	村井ひろみ	現代		個人蔵
66		桃山陶器俳句	大塚花夏	現代		個人蔵
67		桃山陶器俳句	佐々木水音	現代		個人蔵
68		桃山陶器色の中にムシウサギ	中原愛美	現代		個人蔵
69		桃山陶器俳句/イタリアちゃん	中村日奈子	現代		個人蔵
70		桃山盛り合わせ丼	山口はるき	現代		個人蔵
71		パブリーお月様 ムシウサギ	棟光里	現代		個人蔵
72		桃山陶器俳句	小野一葉	現代		個人蔵
73		抹茶パッケージ	古草舞也子	現代		個人蔵
74		Fire works 鳴海織部の土	山本悠葵	現代		個人蔵
75		Fire works さまざまな釉薬	吉田夕希	現代		個人蔵
76		マツ トートバック	加納静香	現代		個人蔵
77		桃山文様グッズのデザイン案	吉田真希	現代		個人蔵
78		Fire works 絵付の風景	北幸都乃	現代		個人蔵

79		章魚帰郷図	中辻真尋	現代	個人蔵
80		杓形茶碗デザインの靴	柴田若菜	現代	個人蔵
81		ももやまあにまる／京ばあむ	大西由羽	現代	個人蔵
82		桃山おざぶとん	山口夕璃乃	現代	個人蔵
83		iremono	谷川由芽	現代	個人蔵
84		yomoyama／3Dムシウサギ	田部未紗	現代	個人蔵
85		Editing	采奈菜子	現代	個人蔵
86		LINEスタンプ 桃山陶器妄想	梁卓瑩	現代	個人蔵
87		momo 椀's	堀口史帆	現代	個人蔵
88		Fire works 桃山のとり	松浪千紘	現代	個人蔵
89		オリベシッキ	北浦雄大	現代	個人蔵
90		カラフルまじわる	大西由羽	現代	個人蔵
91		彦根市役所本案圖	寺岡波瑠	現代	個人蔵
92		すぐに破壊されて陶片になったら転生した件	北浦雄大	現代	個人蔵
93		触って楽しむ桃山デザイン	倉澤佑佳	現代	個人蔵
94		ユメミル 触感	四方理南	現代	個人蔵
95		破袋の隙間からは何かステキなものが出てくるに違いない	中辻真尋	現代	個人蔵
96		百面相	森川桜帆	現代	個人蔵

※1：重要文化財、14,17-19,22-25,27-30,34-48,50-58：京都市指定文化財

② ～室町幕府滅亡後450年～足利将軍、戦国を駆ける！

会 期：2023年6月10日（土）～8月6日（日）

前期展示＝6月10日（土）～7月9日（日）

後期展示＝7月11日（火）～8月6日（日）

概 要：京都の地に武家政権を樹立した室町幕府。これを率いた個性豊かな足利将軍は、戦国乱世に突入してもなお、直臣団や大名らとともに生き残りの道を模索し続けていた。最後の将軍となった足利義昭の京都追放から450年の節目の年に開催した本展では、京都府が所蔵する国宝・東寺百合文書や、京都大学総合博物館所蔵の重要文化財・教王護国寺文書をはじめとした一級品の歴史資料を通して、戦国の荒波に立ち向かった足利将軍の軌跡を辿った。

出品数：71点

担当者：佐藤稜介

ギャラリートーク

6月22日（木）、7月11日（火）午後2時～



～室町幕府滅亡後450年～足利将軍、戦国を駆ける！

ちらし

「足利将軍、戦国を駆ける！」出品資料一覧

No.	指定	文書群	名称	年代	頁数	所蔵	展示期間
1		三鈷寺文書	足利義政御判御教書	長祿3年(1459)12月20日	1通	京都大学総合博物館	前期
2		三鈷寺文書	足利義政御判御教書	長祿3年(1459)12月20日	1通	京都大学総合博物館	前期
3			君台観左右帳記	江戸時代 17世紀 筆写	1巻	京都府蔵(京都文化博物館管理)	通期
4			松田丹後守平長秀記(松田長秀筆)	室町時代 15世紀	1巻	京都市歴史資料館	通期
5	国宝	東寺百合文書	廿一口方評定引付	明応2年(1493)	1冊	京都府立京都学・歴史館	前期
6	重要文化財	教王護国寺文書	廿一口方手文箱等送進状	明応2年(1493)12月29日	1通	京都大学総合博物館	前期
7	国宝	東寺百合文書	廿一口方評定引付	永正2年(1505)	1冊	京都府立京都学・歴史館	後期
8	国宝	東寺百合文書	廿一口方手文箱等送進状	永正2年(1505)12月28日	1冊	京都府立京都学・歴史館	後期
9	国宝	東寺百合文書	伊勢貞陸奉行人連署奉書	明応2年(1493)10月13日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
10	国宝	東寺百合文書	紀伊郡代蜷川親俊打渡状	明応2年(1493)11月23日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
11	重要文化財	革嶋家文書	足利義澄御判御教書案	文亀3年(1503)12月30日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
12	国宝	東寺百合文書	室町殿祈禱廻請	永正2年(1505)6月日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
13			室町幕府奉行人連署奉書	明応9年(1500)11月5日	1幅	京都府立京都学・歴史館	通期
14	国宝	東寺百合文書	一色材延書状	永正5年(1508)5月26日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
15			宣胤卿記(永正4年)	江戸時代 17世紀 筆写	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期
16	重要文化財	教王護国寺文書	僧泉探書状土台	[永正5年(1508)]5月9日	1通	京都大学総合博物館	前期
17	重要文化財	教王護国寺文書	僧泉探注進状土台	[永正5年(1508)]	1通	京都大学総合博物館	前期
18	重要文化財	教王護国寺文書	将軍東寺御成普請境内人夫帳	永正5年(1508)6月7日	1冊	京都大学総合博物館	前期
19	重要文化財	教王護国寺文書	将軍東寺御成入足散用状	永正5年(1508)7月6日	1巻	京都大学総合博物館	後期
20		平田家文書	室町殿昇進参議拝賀并小除目執筆記	[永正5年(1508)7月1日]	1巻	京都府立京都学・歴史館	通期
21	国宝	東寺百合文書	室町幕府禁制	明応8年(1499)8月28日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
22	国宝	東寺百合文書	室町幕府禁制	永正5年(1508)5月2日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
23			大内義興像	寛政元年(1789)	1幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	通期
24	国宝	東寺百合文書	大内義興遵行状	永正5年(1508)11月27日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
25	国宝	東寺百合文書	大内義興奉行人連署禁制	永正8年(1511)8月27日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
26			具注曆(永正15年)	永正15年(1518)	1巻	京都府蔵(京都文化博物館管理)	通期
27		若杉家文書	室町幕府奉行人連署奉書	永正7年(1510)9月5日	1通	京都府立京都学・歴史館	通期
28			和長記(永正18年)	天保3年(1832)筆写	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期
29			松茸注文	大永2年(1522)9月11日	1幅	京都府立京都学・歴史館	通期
30		若杉家文書	足利義晴防火災祭都状	大永5年(1525)10月14日	1通	京都府立京都学・歴史館	通期
31		宝珠院文書	大館高信書状 附 封紙・礼紙	年未詳10月27日	1通	京都大学総合博物館	前期
32		宝珠院文書	室町幕府奉行人連署奉書	永正8年(1511)4月24日	1通	京都大学総合博物館	前期
33		宝珠院文書	室町幕府奉行人連署状	年未詳12月30日	1通	京都大学総合博物館	後期
34		宝珠院文書	業師寺元長書状	年未詳5月24日	1通	京都大学総合博物館	後期
35			三条西実隆像	江戸時代	1幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	通期
36		燈心文庫	三条西実隆書状	年未詳12月4日	1幅	京都市歴史資料館	通期
37			魚魯愚鈔(三条西実隆筆)	明応3年(1494)筆写	1冊	公益財団法人古代学協会	通期
38	国宝	東寺百合文書	室町幕府禁制	大永7年(1527)9月20日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
39	国宝	東寺百合文書	足利義晴御判御教書	大永7年(1527)11月18日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
40	国宝	東寺百合文書	室町幕府奉行人連署奉書	享祿3年(1530)12月5日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
41	国宝	東寺百合文書	柳本賢治書状	年未詳11月晦日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
42	重要文化財	教王護国寺文書	五方算用状	大永8年(1528)6月日	1巻	京都大学総合博物館	前期
43	重要文化財	教王護国寺文書	講堂読経廻請	享祿2年(1529)5月日	1通	京都大学総合博物館	後期
44	国宝	東寺百合文書	斎藤基速・斎藤誠基連署奉書	大永8年(1528)10月14日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
45	国宝	東寺百合文書	斎藤基速・斎藤誠基連署奉書	享祿3年(1530)8月7日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
46			二水記(大永7年)	天保6年(1835)筆写	1冊	京都府立京都学・歴史館	通期
47	重要文化財	革嶋家文書	伊勢貞忠書状	[天文3年(1534)]閏1月23日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
48	重要文化財	革嶋家文書	三好範長書状	[天文12年(1543)]7月24日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
49		若杉家文書	茨木長隆書状	天文8年(1539)2月29日	1通	京都府立京都学・歴史館	通期

50		福田家文書	細川晴国書状等7通	室町時代 16世紀	1幅	京都市歴史資料館	通期
51		燈心文庫	細川晴国書状	年未詳2月26日	1幅	京都市歴史資料館	通期
52		燈心文庫	細川氏綱書状	年未詳10月21日	1幅	京都市歴史資料館	通期
53		燈心文庫	三好長慶書状	[天文18年(1549)]12月12日	1幅	京都市歴史資料館	通期
54		燈心文庫	三好宗渭・三好長逸書状	年未詳12月7日	1幅	京都市歴史資料館	通期
55	国宝	東寺百合文書	室町幕府禁制	天文15年(1546)9月15日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
56	国宝	東寺百合文書	室町幕府禁制	天文15年(1546)9月17日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
57		燈心文庫	細川晴元書状	年未詳3月14日	1通	京都市歴史資料館	通期
58	重要文化財	革嶋家文書	三好長慶禁制	天文19年(1550)7月日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
59	国宝	東寺百合文書	今村慶満等連署書状	[天文22年(1553)カ]6月25日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
60		若杉家文書	足利義輝泰山府君祭都状	弘治3年(1557)7月	1通	京都府立京都学・歴史館	通期
61			三好政生書状	年未詳7月10日	1幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	通期
62	国宝	東寺百合文書	藤岡直綱書状	[永禄元年(1558)]5月7日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
63	国宝	東寺百合文書	中村高統書状	[永禄元年(1558)]5月7日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
64		石田善明氏旧蔵京都関係文書	室町幕府奉行人連署奉書	永禄3年(1560)9月16日	1通	京都府立京都学・歴史館	通期
65	国宝	東寺百合文書	細川晴元禁制	永禄元年(1558)6月4日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
66	国宝	東寺百合文書	薬師寺粥長禁制	永禄8年(1565)10月16日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
67	重要文化財	革嶋家文書	織田信長朱印状	元亀元年(1570)4月23日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
68	重要文化財	革嶋家文書	室町幕府奉行人連署奉書	元亀元年(1570)4月28日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
69		和田家文書	河田長親書状	[永禄8年(1565)]10月16日	1通	京都市歴史資料館	通期
70		和田家文書	足利義昭書状	[永禄9年(1566)]4月18日	1通	京都市歴史資料館	通期
71		福田家文書	織田信長朱印状	天正2年(1574)4月8日	1幅	京都市歴史資料館	通期

③ 徳川家康とその時代

会 期：2023年8月11日(金・祝)～10月1日(日)

概 要：徳川家康の波乱に満ちた生涯。

徳川家康は戦国時代の最後の覇者として生き残り、およそ三百年続く江戸幕府による安定の時代を築いた人物として知られている。

三河の小大名松平家に生を受けた家康は、織田や今川や武田といった強力な大名が治める国に囲まれ苦難の道を歩む。一向一揆が勃発するなど三河国内の統治に苦しみ、今川を倒し、武田を滅ぼして平穩を得るかとも思われたのも束の間、今度は盟約を結んだ織田信長が本能寺の変に倒れてしまい、後継者となった豊臣秀吉と覇権を争うことになる。

秀吉と和議を結んで臣従した後は、北条氏滅

亡後の関東へとその居を移し、豊臣政権を支える重鎮として次第に頭角をあらわしていく。そして秀吉の死後、関ヶ原合戦で石田三成らの率いる西軍に打ち勝ち、遂には大坂の陣で豊臣家を滅ぼしてようやく天下人となる。この展覧会では、長く続いた戦国時代を終わらせ太平の世を作った徳川家康の足跡を、京都府が所蔵する関連資料の展示によって紹介した。

出品点数：38点

担当者：橋本 章

ギャラリートーク

8月17日(木)、9月7日(木)午後2時～

「徳川家康とその時代」出品リスト

番号	資料名	時代	員数	所蔵者
1	徳川家康書状(松平又七郎宛)	天正10年(1582)7月29日	1冊	個人蔵
2	松平元康一字状(松平新七郎宛)	永禄4年(1561)6月18日	1枚	個人蔵
3	松平元康書状(松平将監宛)	永禄5年(1562)4月23日	1枚	個人蔵
4	松平元康判物(松平薩摩守宛)	永禄5年(1562)12月17日	1枚	個人蔵
5	徳川家康印判状(松平又七宛)	天正19年(1591)6月2日	1枚	個人蔵

6	徳川家康印判状（松平又七宛）	天正20年（1592）9月11日	1枚	個人蔵
7	徳川家康書状	元和元年（1615）9月8日	1枚	個人蔵
8	実如御文	文明7年（1475）7月15日	1冊	京都府立京都学・歴史館蔵
9	『北條五代記』	万治2年（1659）	5冊	京都府立京都学・歴史館蔵
10	江州姉川合戦図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
11	遠州三方原合戦図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
12	長篠合戦図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
13	濃州関ヶ原合戦図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
◎	14 大坂陣図	江戸時代前期	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
15	江戸城図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
16	二条城絵図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
17	伏見版木活字	桃山時代～江戸時代前期	2箱	京都府立京都学・歴史館蔵
18	『標題句解孔子家語』	慶長4年（1599）	4冊	京都府立京都学・歴史館蔵
19	武家諸法度 写	享保2年（1802）3月11日	1巻	京都府立京都学・歴史館蔵
20	禁中並公家諸法度 写	寛文4年（1664）	1巻	京都府立京都学・歴史館蔵
21	『梵舜記』	江戸時代末期	33冊	京都府立京都学・歴史館蔵
22	『逸史』	享和元年（1801）	13冊	京都府立京都学・歴史館蔵
23	江州坂本東照宮様御社惣指図	江戸時代	1枚	京都府立京都学・歴史館蔵
24	徳川家康肖像	江戸時代末期	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
25	『和漢英勇画伝』	江戸時代	2冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）
26	本願寺系譜（浄土門流）	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
27	武田信玄像 森 寛斎 画	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
28	『甲陽軍鑑』	元禄12年（1699）	10冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）
29	『武田家軍器兵具図目録』	江戸時代	1冊	京都府蔵（京都文化博物館管理）
30	織田信長像	江戸時代末期	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
31	お市の方像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
32	豊臣秀吉像 都路華香 画	明治時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
33	千利休像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
34	小堀遠州像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
35	春日局像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
36	土井利勝像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
37	青山忠俊像	江戸時代	1幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
38	参内図屏風	江戸時代前期	六曲一双	京都文化博物館

* ◎印は重要文化財

* No.13の展示は8月11日から9月3日まで。No.14の展示は9月5日から10月1日まで。そのほかは全期展示。

④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝13 「三藐院記」重要文化財指定記念 近衛信尹の生涯

会 期：2023年10月7日（土）～12月3日（日）

前期展示＝10月7日（土）～11月5日（日）

後期展示＝11月7日（火）～12月3日（日）

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。安土桃山時代の近衛家当主である近衛信尹の日記「三藐院記」が重要文化財に指定されたことを記念して開催した本展では、激動の生涯を駆け抜けた信尹の人物像に迫るべく、信尹によ

る裏書きの残る国宝『御堂関白記』や、近衛流（三藐院流）として一派をなした大胆な書の数々を展覧し、陽明文庫とその所蔵作品の魅力を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品数：22件

担当者：佐藤稜介

ギャラリートーク

10月25日（水）、11月8日（水）午後2時～

「陽明文庫展」出品資料一覧

No.	指定	名称	筆者等	年代	員数	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘五年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘5年(1008)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 寛仁元年巻		平安時代 11-12世紀	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘六年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘6年(1009)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘六年巻		平安時代 11-12世紀	1巻	後期
5		源氏物語和歌色紙貼交屏風	近衛信尹筆	江戸時代 17世紀	6曲1双	通期
6		和歌懐紙「侍 行幸聚楽第」	近衛信尹筆	安土桃山時代 天正20年(1592)	1幅	通期
7		和歌懐紙「秋日詠三首」	近衛信尹筆	江戸時代 17世紀	1幅	通期
8		和漢色紙帖	近衛信尹筆	江戸時代 17世紀	1帖	通期
9		和歌詠草「翫花・神社」	近衛信尹筆	江戸時代 慶長18年(1613)	1幅	通期
10		和歌詠草「立待月・渡月・月前松・寄月旅」	近衛信尹筆	江戸時代 慶長19年(1614)	1幅	通期
11	重要文化財	三藐院記 本記 文禄元年記	近衛信尹筆	安土桃山時代 文禄元年(1592)	1冊	前期
12	重要文化財	三藐院記 本記 文禄三年記(横帳)	近衛信尹筆	安土桃山時代 文禄3年(1594)	1冊	前期
13	重要文化財	三藐院記 本記 慶長三年記	近衛信尹筆	安土桃山時代 慶長3年(1598)	1冊	前期
14	重要文化財	三藐院記 本記 慶長四年記	近衛信尹筆	安土桃山時代 慶長4年(1599)	1冊	前期
15	重要文化財	三藐院記 本記 慶長六年記	近衛信尹筆	江戸時代 慶長6年(1601)	1冊	後期
16	重要文化財	三藐院記 本記 慶長七年記	近衛信尹筆	江戸時代 慶長7年(1602)	1冊	後期
17	重要文化財	三藐院記 本記 慶長十一年記	近衛信尹筆	江戸時代 慶長11年(1606)	1巻	後期
18	重要文化財	三藐院記 別記 告都状	近衛信尹筆	安土桃山時代 文禄3年(1594)	1巻	前期
19	重要文化財	三藐院記 別記 関白宣下記	近衛信尹筆	江戸時代 慶長10年(1605)	1巻	後期
20	重要文化財	三藐院記 別記 古今聴観	近衛信尹筆	安土桃山時代 天正19年(1591)	1冊	前期
21	重要文化財	三藐院記 別記 禁中猿楽御覧記	近衛信尹筆	安土桃山時代 文禄2年(1593)	1冊	前期
22		三藐院記 別記 政仁親王御元服記	近衛信尹筆	江戸時代 慶長15年(1610)	1巻	後期

※所蔵はすべて公益財団法人陽明文庫

⑤ 池大雅展－あるコレクターの視点

会 期：2023年10月7日(土)～12月3日(日)
 概 要：当館が20年以上に亘り毎年開催している「池大雅」展は、熱烈な大雅ファンの一人、佐々木米行氏によって収集され、かつて洛西にあった池大雅美術館で展示されていたコレクションを紹介するものだ。米行氏の死後は長女のもと子氏がすべての資料、作品を管理され、のちに京都府へとコレクションを寄贈された。

今年度は例年から視座を変えて、近代のひとりのコレクターが大雅とどのように出会い、コレクションを形成するに至ったのか、その過程と成果をご紹介します。

出品数：17件

担当者：有賀 茜

ギャラリートーク

10月11日(水)、11月8日(水) 午後2時～

出品資料一覧

通番	作品名	作者	制作年	素材技法	員数	所蔵	
1	佐々木米行氏肖像写真		昭和34年撮影	写真	一面	京都府立京都学・歴史館	佐々木米行氏関連資料
2	如意輪観世音像			金銅鑄造	一体	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
3	池大雅墓碑銘拓本		大正時代	紙本墨拓	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
4	池大雅肖像	月峰	江戸時代後期	紙本着色	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
5	大雅社中「連名簿」		天明4年10月	紙本墨書	一面	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
6	清亮肖像画並びに伝記	大雅堂定亮		紙本墨画淡彩	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
7	杲堂之偈	杲堂元昶	享保14年	紙本墨書	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
8	金山	池大雅	享保10年	紙本墨書	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
9	書簡(あさり貝礼状)	池大雅	江戸時代後期	紙本墨書	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション

10	与葛子琴詩	池大雅	江戸時代後期	紙本墨書	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
11	蕙石図	池大雅	江戸時代中期	紙本墨画	一幅	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
12	高士訪隠図屏風	池大雅	寛延3年	紙本淡彩	六曲一隻	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
13	壬生鷹尅僧群詣之図	池大雅	江戸時代中期	紙本墨画	一卷	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
14	天産奇葩画卷	池大雅	江戸時代後期	紙本墨書	一卷	京都府蔵(京都文化博物館管理)	池大雅美術館コレクション
15	霊在りて精を遺す 池大雅美術館作品集	佐々木もと子	平成12年		一冊	京都文化博物館	
16	佐々木米行氏旧蔵資料				三冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)	
17	池大雅美術館作品目録	佐々木米行	昭和時代	紙本墨書、写真	三冊	京都文化博物館	

⑥ 日本考古学の鼻祖 藤貞幹展

会 期：2023年12月9日(土)～2024年2月4日(日)
(前期：12月9日～2024年1月14日、
後期：2024年1月16日～2月4日)

担当者：村野正景
ギャラリートーク
12月23日(土)、1月19日(金) 午後2時～

概 要：「300年前の京都 こんなに学問に夢中な人がいた」この本展のキャッチコピーの人物は、近世考古学の第一人者とも評される藤貞幹である。本展の主人公である藤貞幹の学問のスケールは非常に大きく、未だ正当な評価を獲得するほど理解されていないと言われている。実際、彼の代表作『集古図』に収録された歴史遺物は、天文・地理から度量、印、銭幣、服飾、銅器、布帛、輿輦、刀剣、玉器、石器、瓦器、文房器、碑銘、葬具、扁額等と広範囲におよぶ。本展では、彼に関する新資料をご紹介します、また考古学史研究に定評のある京都木曜クラブと共に、貞幹の事績を丁寧に読み解いた。

協 力：京都木曜クラブ

出品資料数：33件



日本考古学の鼻祖 藤貞幹展ちらし

「日本考古学の鼻祖 藤貞幹展」出品目録

No	資料名	作者	時代	所蔵・管理	
1	都名所図会	秋里籬島	江戸時代 安永9年	1780	当館蔵
○2	藤貞幹の書状 宛名不明	藤貞幹	江戸時代	1746-1769頃	個人蔵
3	藤貞幹の書状 蒔田必器宛	藤貞幹	江戸時代 天明5年以降	1785以降	古代学協会蔵
○4	天智天皇外記 写	藤貞幹	江戸時代 文化6年写	1809写	個人蔵
○5	藤貞幹筆 杜甫漢詩	藤貞幹	江戸時代 天明8年	1788	個人蔵
6	大内裏図考証 稿本	裏松固禪・藤貞幹	江戸時代	18世紀後半	京都府立京都市学・歴彩館蔵
7	大内裏図考証	裏松固禪	江戸時代	18世紀末～19世紀初	古代学協会蔵(当館寄託)
8	院宮及私第図	裏松固禪	江戸時代	18世紀末頃	古代学協会蔵(当館寄託)
9	集古十種 桑名蔵版	松平定信	江戸時代	19世紀	京都府蔵(当館管理)
10	東三条殿復元模型		昭和40年	1965	当館蔵
11	逸号年表	藤貞幹	江戸時代 寛政10年刊	1798	個人蔵
12	国朝書目	藤貞幹	江戸時代 寛政3年刊	1791	個人蔵

13	好古小録 乾・坤	藤貞幹	江戸時代 寛政7年刊	1795	個人蔵
14	好古日録 本・末	藤貞幹	江戸時代 寛政9年刊	1797	個人蔵
15	内裏式	藤原冬嗣等撰/藤貞幹校	江戸時代 寛政4年校 享和3年刊	1792校 1803刊	京都府立京都学・歴史館蔵
○16	六種図考 度量 写	藤貞幹	原本：江戸時代	原本：18世紀	個人蔵
17	公私古印譜		江戸時代 安永2年序 明治20年出版	1773序 1887出版	京都府蔵（当館管理）
18	集古図	藤貞幹	江戸時代 寛政4年頃	1792頃	京都市立芸術大学芸術資料館蔵
19	集古図	藤貞幹	江戸時代		京都府蔵（当館管理）
20	古瓦譜	藤貞幹	江戸時代 明和4年序	1767	大阪府立中之島図書館蔵
○21	古瓦譜 写	舷舵楼主人	大正13年	1924	当館蔵
22	平安京跡出土瓦		奈良～平安時代		当館蔵
23	文字瓦拓本の復元資料		現代		個人蔵
24	木村捷三郎氏研究資料	木村捷三郎	現代		京都市埋蔵文化財研究所蔵
●25	東寺百合文書 大中臣氏女 山城国上野庄譲状		正中3年3月8日	1326	京都府立京都学・歴史館蔵
●26	東寺百合文書 藤原氏女田 地譲状		建武5年7月8日	1338	京都府立京都学・歴史館蔵
27	那須国造碑拓本				帝塚山大学附属博物館蔵
28	法隆寺諸仏像銘拓本				帝塚山大学附属博物館蔵
29	北白川天神宮 壺之鉾 黒 鉾		延喜8年銘	908銘	北白川天神宮 壺之鉾管理
30	北白川天神宮 壺之鉾 剣 鉾の当屋飾り				北白川天神宮 壺之鉾管理
○31	村上帝御扇	藤貞幹	江戸時代		個人蔵
○32	高倉帝御扇	藤貞幹	江戸時代 寛政9年写	1797	個人蔵
○33	一遍上人絵伝 模写	藤貞幹	江戸時代 安永2年写	1773	個人蔵

※半期で真替え。前期：12月9日～2024年1月14日、後期：2024年1月16日～2月4日

※25は前期、26は後期に展示。※番号横の●は国宝、○は初出品を示す。

⑦ 紫式部と『源氏物語』

会 期：2024年2月10日（土）～4月7日（日）

概 要：紫式部の生きた時代と『源氏物語』の世界を感じる。

紫式部が著した『源氏物語』は、女流作家による日本最古の物語文学として、長く人びとに愛されてきた。その日本文化に及ぼした影響は大きく、作品そのものはもとより、描かれた物語の場面は数々の美術工芸品のモチーフとなった。

京都文化博物館は、その前身である平安博物

館の時代から『源氏物語』をはじめとする平安文化の研究を続けており、館内には数々の資料が収められている。本展覧会では、当館のこれまでの研究成果を元に、京都府所蔵の関連資料等を加え、紫式部と『源氏物語』に関するさまざまな資料を公開した。

出品作品数：24件

担当者：橋本章

ギャラリートーク

2月27日（火）、3月12日（火）午後2時～

「紫式部と『源氏物語』」出品リスト

No.	資料名	作者等	年代	員数	所蔵
1	紫式部図		江戸時代	1幅	京都府蔵(京都博物館管理)
2	清少納言図	猪飼 嘯谷	明治時代末期～昭和時代初期	1幅	
3	女房図(赤染衛門)	横山 華山	江戸時代後期	1幅	
4	紫式部日記	紫式部 著	享保14年(1729)写	1冊	
5	笙			1管	
6	楽琵琶			1面	
7	龍笛		江戸時代中期	1丁	
8	和琴		江戸時代以前(推定)	1張	
9	楽太鼓			1張	
10	源氏物語	案本 一洋	昭和24年(1949)	六曲一双	
11	源氏物語 朧月夜	平野 喜久夫	平成20年(2008)	1幅	京都府立京都学・歴史館蔵
12	錦織掛け軸	岩佐 讓、稲鍵 禎一	平成20年(2008)	1幅	
13	権記	藤原 行成 著	江戸時代 写	19冊	
14	小右記	藤原 實資 著	江戸時代中期 写	24冊	
15	源氏物語巻々系図		江戸時代	1冊・1枚	
16	源氏物語	紫式部 著	慶安3年(1650)刊	54冊	
17	源語秘訣抄	一条 兼良 著	江戸時代刊	1冊	
18	源氏物語	紫式部 著	寛文5年(1665)写	54冊	
19	紫式部集	紫式部 著	江戸時代 写	1冊	
20	紫式部日記絵巻断簡	紫式部 著	南北朝時代 写	1巻	
21	重要文化財『源氏物語』青表紙本 ①「若紫」「花散里」「須磨」「明石」 ②「野分」「若菜(上)」「鈴虫」「夢浮橋」	紫式部 著	室町時代 写	8冊	公益財団法人古代学協会蔵
22	紫式部居室想像図	林 司馬 画	昭和時代	1枚	京都文化博物館蔵
23	栄花物語		江戸時代 写	14冊	公益財団法人古代学協会蔵
24	東三条殿復元模型		昭和40年(1965)	1基	京都文化博物館蔵

4) 3階企画展

① 京都文化博物館 開館35周年記念

異界へのまなざし あやかしと魔よけの世界

会 期：2023年11月25日(土)～2024年1月8日

(月・祝) [34日/45日]

開室時間：午前10時～午後7時30分

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)、

12月28日～1月3日

会 場：3階展示室

主 催：京都府、京都文化博物館

担当者：橋本 章

入場者：16,848人(1日平均496人)

【概要】

我々の世界のすぐ隣には別の世界があり、そこにはこの世ならぬモノ達が棲んでいる。病気や災害などの



京都文化博物館 開館35周年記念

「異界へのまなざし あやかしと魔よけの世界」ちらし

災厄は、そうした世界の住人からの干渉が生み出す現象なのでは？人びとは身の回りに起こる不可思議な現象を異界との邂逅として解釈してきた。そして異界から何か悪いモノがやって来ないようにと様々な呪法が編み出され、魔よけやまじないが修されてきた。この展覧会では、人びとが異界に向けてきたまなざしに着目し、それがどのように表現されてきたのか、そして異界からの侵蝕に対して、人びとはどのように対処してきたのかについて、関連資料の展示によって紹介した。

第一章 現世と異界のはざま

現世に未練を残して亡くなった者たちの魂は、時として縁のある人の前に姿を現すという。古来人びとは生と死のはざまのこうした存在を恐れてきた。私たちの普段の暮らしの中に突如出現するこの世ならぬモノたち。その様相は怪異として文字に記録され、あるいは畏怖の念を持って描かれてきた。

第二章 異界に棲むモノたち

鬼や土蜘蛛、さまざまな妖怪など、私たちと同じ世にありながら私たちとは異なる理（ことわり）によって生きるモノたち。古来彼らは私たちの暮らしに仇なす存在として恐れられ、時には英雄によって退治されてきた。そのおぞましい姿は物語として語り継がれ、あるいは絵画に描かれて累代にわたって人びとを恐怖させた。

第三章 魔よけとまじないの作法

疫病や天変地異など不意に訪れる災厄に対して、人びとは相応の防護策を講じて対処してきた。陰陽師によるト占や呪符といった本格的な修法に依拠するほか、鐘馗像を屋根に掲げて家内を守護したり、蘇民将来や元三大師の御札を護持して魔よけとなしたりと、さまざまな作法が編み出され、人びとの心の安寧に寄与してきた。

作品数 66件

【関連催事】

① 天花寺さやか先生トークショー

小説家で『京都府警あやかし課の事件簿』の作者・天花寺さやか先生をお迎えして、あやかしの熱いバトルの舞台となった京都文化博物館で、トークショーを繰り広げた。PVの声を担当した声優・櫻庭由加里さんによる『京都府警あやかし課の事件簿』の朗読も行った。

講師：天花寺さやかさん（小説家・『京都府警あやかし課の事件簿』作者）

特別ゲスト：櫻庭由加里さん（声優）

日時：2023年12月9日（土）午後1時30分～3時

場所：京都文化博物館 別館ホール

参加費：無料（ただし当日の入場券が必要）

参加人数61名

② 「異界へのまなざし展」開催記念講演会「魔界京都の「発見」とその後—怪異・妖怪研究への貢献—」

国際日本文化研究センター名誉教授で妖怪研究の第一人者でもある小松和彦先生をお迎えして、怪異・妖怪研究における京都の位置などについてご講演いただいた。

講師：小松和彦氏（国際日本文化研究センター名誉教授）

日時：2023年12月10日（日）午後1時30分～3時

場所：京都文化博物館 別館ホール

参加費：無料（ただし当日の入場券が必要）

参加人数：166名

③ 4館連携講座「あやかしと魔よけの世界」

日時：2023年12月23日（土）午前10時30分～正午

場所：京都文化博物館3階フィルムシアター

講師：橋本章

参加費：無料（ただし当日の入場券が必要）

参加者数：82名

④ ギャラリートーク

日時：2023年12月1日（金）、12月22日（金）午後2時～

「異界へのまなざし」出品リスト

No.	資料名	作者・文書名等	時代	員数	所蔵	展示期間
1	久の浜の張子面「大天狗」（福島）		昭和時代	1枚		通期
2	伊賀局	渡辺省亭	明治33年（1900）	1幅		通期
◎ 3	賀茂在通怪異占文	東寺百合文書	文明18年（1486）5月15日	1枚	□	前期
◎ 4	勘解由小路某占文	東寺百合文書	永正14年（1517）閏10月14日	1枚	□	後期
◎ 5	定昌鎮守八幡宮神供釜鳴占文	東寺百合文書	正長2年（1429）1月	1枚	□	前期
◎ 6	定昌釜鳴吉凶占文	東寺百合文書	応永29年（1422）5月	1枚	□	後期
7	長谷雄卿逢羅城門鬼神之図		江戸時代中期	1巻	□	通期
8	黒紹羽織「刑場図描絵」肩裏付	河鍋暁斎	明治4年（1871）	1領		通期
9	白骨と美人			1幅		通期
10	卒堵婆に骸骨			1幅		通期

11	幽霊	岸勝		1幅		通期
12	見返り幽霊	鈴木松年	明治～大正時代	1幅		通期
13	餓鬼草子(模)	伊藤小坡ほか	明治時代後期～昭和時代	1巻		通期
14	壬生面(京都)		昭和時代	4枚		通期
15	八岐の大蛇退治	鈴木松年	明治4年(1871)	1幅		通期
16	産女			1幅		通期
17	『頼光大江山入』	歌川直政	嘉永5年(1852)	1冊	□	通期
18	『武勇繪本大江山』		安永9年(1780)	1冊	□	通期
19	鬼の念仏・座頭	鈴木松年	明治～大正時代	二曲一隻		通期
20	土蜘蛛之草紙		江戸時代末期	1巻	□	通期
21	土蜘蛛草紙		近代	1巻		通期
22	化物絵巻		江戸時代後期	1巻	□	通期
23	百鬼夜行絵巻		江戸時代	1巻		通期
24	『百鬼夜行』	烏山石燕	安永5年(1776)	3冊		通期
25	『百鬼夜行拾遺』	烏山石燕	安永10年(1781)	3冊		通期
26	百種怪談妖物双六	歌川芳員	江戸末～明治初期	1枚		通期
27	閻魔王図	紀広成	江戸時代後期	1幅		通期
28	鐘馗像		昭和時代	1体		通期
29	八坂神社の蘇民将来(京都)		昭和時代	3点		通期
30	笹野彫の蘇民将来(山形)		昭和時代	5点		通期
31	国分寺八日堂の蘇民将来(長野)		昭和時代	6点		通期
32	小倉八幡の蘇民将来(福岡)		昭和時代	2点		通期
33	伊勢の注連飾り(三重)		昭和時代	1点		通期
34	武田信豊泰山府君祭都状案	若杉家文書	天文22年(1553)正月	1枚	□	通期
35	占事略決	若杉家文書	慶長15年(1610)書写	1冊	□	通期
36	八卦配置	若杉家文書	江戸時代	1枚	□	通期
37	方位占図	藤木家文書	江戸時代	2枚	□	通期
38	呪符	藤木家文書	江戸時代	1枚	□	通期
39	護符秘伝完・護符	上野家文書	江戸時代	1冊・1枚	□	通期
40	安倍晴明祭壇図	大國家文書	江戸時代	1枚	□	通期
41	刀禁呪	大國家文書	江戸時代	2枚	□	通期
42	易占道具	大國家文書	江戸～昭和時代	一式	□	通期
43	六壬式盤(復元)		平成15年(2003)	1台	京都文化博物館蔵	通期
44	嵯峨面(京都)	藤原孚石	昭和52年(1977)	10枚		通期
◎ 45	若狭国太良庄百姓僧巖円等連署起請文	東寺百合文書	正安4年(1302)4月25日	1枚	□	前期
◎ 46	権大僧都堯全起請文	東寺百合文書	応仁3年(1468)6月晦日	1枚	□	後期
47	『角大師真影漫譚』		天明2年(1782)	1冊	□	後期
48	魔尊(元三大師像)		江戸時代後期	1幅		通期
49	鐘馗大臣	横井金谷	江戸時代後期	1幅		通期
50	紅鐘馗	亀岡規礼	江戸時代後期	1幅		通期
51	節分豆まき	岡田琦		1幅		通期
52	薬玉と女官	月岡雪鼎	江戸時代中期	1幅		通期
53	『貞丈雑記』一之下・十六上	伊勢貞丈	江戸時代後期刊	2冊		通期
54	天児		江戸時代後期	1体		通期
55	菖蒲兜	村岡登志一	平成元年(1989)	1体		通期
56	『追儼』	原家文書	江戸時代	1冊	□	通期
57	宝船図		昭和時代	5枚		通期
58	薬玉	村岡登志一	平成11年(1999)	1点		通期
59	七草籠(復元)		平成12年(2000)	1点	京都文化博物館蔵	通期
60	『諸国図会年中行事大成』巻二下・巻四	速水春暁	文化3年(1806)刊	2冊		通期
61	『都名所図会』巻二	秋里籬島	安永9年(1780)刊	1冊		通期

	62 『日本歳時記』巻四	貝原好古	貞享5年(1688)刊	1冊		通期
○	63 上達書「妖怪の節 凶職呪詛等の行為を禁ず」	京都府行政文書	明治5年(1872)5月	1冊	□	前期
○	64 布告留「妖怪の言を以て諸人を狂惑しそれを渡世をするものあり」	京都府行政文書	明治4年(1871)	1冊	□	後期
	65 棟札		昭和15年(1940)	1枚		通期
	66 堂宮大工上棟式具一式		弘化5年(1848)	一式		通期

*◎印は国宝、○印は重要文化財

*展覧会会期のうち前期展示は2023年11月25日から12月17日まで、後期展示は2023年12月19日から2024年1月8日まで

*所蔵について□印は京都府立京都学・歴史館の所蔵。特に記入のないものは京都府蔵(京都文化博物館管理)の資料。

②『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本

会期：2023年12月16日(土)～2024年2月4日(日)
38日間

開室時間：午前10時～午後7時30分まで
(入室は30分前まで)

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)
12月28日～1月3日

会場：4階展示室

主催：京都府、京都文化博物館

協力：板橋区立美術館、三重県立美術館

助成：公益財団法人ポーラ美術振興財団

担当者：清水智世

入場者：11,694人(1日平均307人)

出品数：作品114点、資料91点

【概要】

20世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。フランスに始まり各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼした運動は、日本の芸術家たちをも魅了します。

1920年代後半、詩の分野から始まった「日本のシュルレアリスム」はやがて絵画の分野へと広がり、幻想的で詩的な世界が生み出されました。同時代の国際的な動向に敏感な画家たちは、芸術団体での活動を通してシュルレアリスムと対峙し続けます。戦前から戦後へ、困難な社会状況を背景に生み出された絵画は、次第に画家の個性がにじみ出たものへと変容していきます。

『シュルレアリスム宣言』の発表から100年を記念する本展では、シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家の作品を通して多様なイメージの展開をご紹介しますと同時に、彼らが生きた時代を振り返る機会としました。



『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」ちらし

【展覧会の構成】

序章 シュルレアリスムの導入

第1章 先駆者たち

第2章 衝撃から展開へ

第3章 拡張するシュルレアリスム

第4章 シュルレアリスムの最盛期から弾圧まで

第5章 写真のシュルレアリスム

第6章 戦後のシュルレアリスム

【関連イベント】

講演会：シュルレアリスムと日本の画家たち

講師：速水豊氏(三重県立美術館 館長)、
弘中智子氏(板橋区立美術館 学芸員)

日時：2024年1月13日(土) 午前10時30分～正午

場所：京都文化博物館3階フィルムシアター

参加者数：150名

ギャラリートーク

日時：2024年1月12日(金)、1月26日(金)

午後2時～

5) ぶんぱく京都講座

①「古文書にみる戦国期室町幕府のすがた」

日 時：2023年7月25日（火）午前10時30分～正午
講 師：佐藤稜介
参加者数：63名
概 要：「～室町幕府滅亡後450年～ 足利将軍、戦国を駆ける！」の開催に合わせて実施。戦国期

の室町幕府の具体相について、展覧会に出陳した資料を素材に復元を行った。従来は機能不全に陥ったと漠然と考えられていた戦国期室町幕府像を見直し、幕府を構成する諸機構は原則的には機能していたことを提示した。

②「徳川家康とその時代」

日 時：2023年9月7日（木）午前10時30分～正午
会 場：京都文化博物館3階フィルムシアター
講 師：橋本 章
参加者数：42名
概 要：戦国時代最後の覇者となった徳川家康について、主にその青年期の様相を出陳資料である形原松平家史料から紐解く講座。家康は三河国松平家に生まれ、幼少期は織田家や今川家の人質として苦勞する。青年期には数々の困難を切り抜けながら三河国を維持した。家康が生まれた松平氏は室町時代に西三河各地に勢力を拡大した一族で、いくつもの分家が展開していた。形原松平家は家康の六代前の先

祖である松平信光の四男與副が、三河国宝飯郡形原を拠点として単立したことに始まる。四代家広の頃に徳川家康に従い、五代家忠は長篠の戦いや小牧長久手の戦いに参戦して武功を上げている。六代家信は三河国形原で一万石を領有し徳川家の譜代大名となるが、その後、形原松平家は摂津国高槻から下総国佐倉、丹波国亀山藩（現在の京都府亀岡市付近）五万石の大名となり、そのまま幕末まで続く。形原松平家には六千点を超える資料が伝来しており、徳川家康からの書状も残されている。

③「この方、何者？ 藤 貞幹の学問と情熱」

日 時：2023年12月19日（火）午前10時30分～正午
講 師：村野正景
参加者数：26名
概 要：藤貞幹は江戸時代の考古学者である。彼を扱う本展覧会は1. 藤貞幹の交友、2. 藤貞幹

の著作、3. 好古日録・好古小録と集古図の3章で構成した。講座では、この章立てに沿って藤貞幹の事績を紹介した。とりわけ本展覧会で初公開の品々に焦点をあて、その魅力と意義を考えるための情報提供をおこなった。

④「紫式部と『源氏物語』の世界」

日 時：2024年2月14日（水）午前10時30分～正午
会 場：京都文化博物館3階フィルムシアター
講 師：橋本 章
参加者数：50名
概 要：紫式部の著した『源氏物語』は現代にも読み

継がれる不朽の名作となる。ほかに宮廷生活の様子を記した『紫式部日記』や、自撰歌集の『紫式部集』などを遺す。本講座では紫式部の生涯と彼女を取り巻く人物について紹介した。紫式部は平安時代中期の女性で藤原為

時の娘。藤原宣孝と結婚し娘賢子を授かるが宣孝とは結婚後わずか2年ほどで死別する。その後藤原道長の娘で一条天皇の中宮となった彰子に仕える。ほかに平安時代中期の貴族で道長の父の藤原兼家や、兄の道隆、藤原実

資、源雅信、一条朝の四納言と呼ばれた藤原公任や藤原齊信、藤原行成や源俊賢、そして赤染衛門や清少納言といった女性についても紹介した。

Ⅲ - 2 特別展示

① 四百年遠忌記念特別展 大名茶人 織田有楽齋

会 期：2023年4月22日（土）～6月25日（日）
〔57日／64日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

※金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館。ただし、5月1日は臨時開館）

会 場：京都文化博物館 4階・3階特別展示室

入場料：一般1,600円（1,400円）、大高生1,000円（900円）、中小生500円（300円）

※（ ）内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、正伝永源院、読売新聞社

特別協力：織田有楽齋四百年遠忌実行委員会、株式会社エリジオン、NTTコミュニケーションズ株式会社、ソニーマーケティング株式会社

協 賛：（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

後 援：清水建設

担当者：西山剛、村野正景、有賀茜

入場者：18,424人（1日平均323.2人）

【概 要】

本展は、遠忌400年を迎えた織田有楽齋という人物について、全国的に初となる大規模展示を行ったものである。菩提寺・正伝永源院が所蔵する文化財の地道な調査を土台として、新出の文書群を公開したことには大きな反響があった。また有楽齋ゆかりの茶道具を一堂に展示し、織田信長の弟という立場にありながら、豊臣・徳川家の家臣として生き抜いた有楽齋について「大名茶人」という位置付けを視覚的に印象づける貴重な展示となった。さらに愛知県犬山市に現存する国宝・如庵と旧正伝院書院内部をあたかも実際に訪れたかのようなスタイルで鑑賞できる工夫をVR技術により



「大名茶人 織田有楽齋」
ちらし

実現した。また、解説パネルを翻訳アプリで読み込むことを推奨し、国内外の来場者に広くアピールする工夫を行った。多くの来場者に恵まれ、それぞれに展示を楽しんでいただくことができた。

【展示会の構成と主な出品作品】

第1章 織田長益の活躍と逸話 “逃げた男” と呼んだのは誰か

信長公記	陽明文庫蔵	江戸時代
義山後覚	加賀中央図書館蔵	江戸時代
短刀 無銘 貞宗	文化庁蔵	鎌倉～南北朝時代 ※国宝

第2章 有楽齋の交友関係

織田有楽齋坐像	正伝永源院蔵	江戸時代
金地院崇伝書状	大阪青山歴史博物館蔵	江戸時代
武野宗瓦書状	正伝永源院蔵	江戸時代
織田有楽齋書状	古田織部宛	正伝永源院蔵 江戸時代

第3章 数寄者としての有楽齋

京都建仁寺正伝院茶室起絵図 東京国立博物館蔵 江戸時代

有楽亭茶湯日記 今日庵文庫蔵 江戸時代

緑釉四足壺 慈照院蔵 平安時代

※重要文化財

茶杓 玉ふりふり 根津美術館蔵 桃山～江戸時代

三島筒茶碗 銘藤袴 徳川美術館蔵

朝鮮王朝時代

大井戸茶碗 銘有楽 東京国立博物館蔵

朝鮮王朝時代 ※重要美術品

第4章 正伝永源院の寺宝

狩野山楽筆 織田有楽齋像 正伝永源院蔵 元和8年

狩野山楽筆 蓮鷺図襖 正伝永源院蔵

江戸時代

長谷川等伯筆 山水図 名古屋鉄道株式会社蔵 桃山時代

秋草文時絵香炉 正伝永源院蔵 桃山時代

第5章 織田有楽齋と正伝永源院 いま、そしてこれから

有楽齋手造茶碗 正伝永源院蔵 桃山～江戸時代

黒染「正傳院」字茶碗 正伝永源院蔵 江戸時代

【出品作品数】

149件

【関連行事】

(1) 講演会：「有楽の茶の湯」

講師：筒井紘一氏（京都府立大学客員教授、茶道資料館顧問）

日時：2023年5月17日（水）午後2時～3時30分

会場：京都文化博物館 別館ホール

参加費：無料

ただし本展覧会入場券（半券可）が必要/要事前申込

参加者：153名

(2) 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2023年4月26日（水）、5月12日（金）、5月19日（金）、5月26日（金）、5月31日（水）、6月21日（水）各日午後1時30分～2時

場所：4階展示室

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：34名（4/26）、16名（5/12）、21名（5/19）、16名（5/26）、76名（5/31）、75名（6/21）

② 発掘された珠玉の名品 少女たち—夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより

会期：2023年7月15日（土）～9月10日（日）

〔51日／58日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

*金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館、7月24日は開館）

会場：4階・3階展示室

入場料：一般1500円（1300円）、大高生1000円（800円）、中小生500円（300円）

※（ ）内は前売券、及び20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送、京都新聞

後援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

監修：笠岡市立竹喬美術館 前館長 上蘭四郎

企画協力：青幻舎プロモーション



「発掘された珠玉の名品 少女たち—夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより」ちらし

担当者：植田彩芳子、清水智世

入場者：13,398人（1日平均262.7人）

【概要】

本展覧会は、「少女たち」を基本テーマとするが、

これまで数多く開催されてきた美人画展とは趣きが異なる。多くがこれまで聞いたことのない画家、経歴も定かでない無名の画家たちの作品である。この作品群は、流派や知名度にはおよそこだわらず、ただ作品の質だけを見極めるという姿勢の星野画廊によって蒐集されてきた。従来の、大家を中心とした名作主義の美術史に対して、もっと自由に美術作品を鑑賞し、楽しむことができないうか、そうした願いを込めて、本展は企画された。

本展は、星野画廊コレクションより、明治から大正、昭和時代までの日本画と洋画作品、121点を「少女たち」をテーマに選び紹介した。展示では、第1章で明治期に描かれた童女から少女を紹介することに始まり、第2章では大正期を中心に、四季に移ろう少女たちの姿を紹介。第3章は星野画廊によって発掘された秦テルヲ、岡本神草、甲斐庄楠音といった大正の個性派画家たちによる女性の姿、きれい事だけではすまない人生を歩む女性の一側面に焦点をあてた。第4章では、趣向を変えて、歴史上に現れる女性を描いた作品を紹介。第5章では昭和期の画家が描いた夢みる少女の姿、舞い踊る少女の姿など。やがて少女たちの中には母となる者も現れる。第6章で紹介するのは、慈しむ母となった少女の姿。第7章では、昭和期のモダン・ガールを描いた作品を紹介した。最後に、第8章では、星野画廊コレクションの特色の一つでもある渡欧画家の作品に注目し、西洋の少女、女性を描いた洋画をご覧いただいた。

本展では、童女から少女、そして大人へとさまざまな人生を歩む女性の姿を紹介し、日本近代の多彩な画家による魅力を放つ女性像をお楽しみいただいた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1部 明治の少女たち

笠木治郎吉《花を摘む少女》明治30～45年頃

第2部 四季のうつろいの中で

北野恒富《初姿》昭和初期頃

島成園《きぬた》大正前期頃

第3部 大正の個性派画家たち

秦テルヲ《淵に佇めば》大正6年

岡本神草《拳の舞妓》大正11年頃

第4部 歴史画に見る少女たち

玉村方久斗《竹取物語》昭和8～10年頃

第5部 夢見る少女たち

野田英夫《籠を持てる少女》昭和7年

第6部 慈しむ母として

秦テルヲ《慈悲心鳥の唄》大正12年頃

第7部 モダンガールズ

粥川伸二《娘》昭和3年頃

里見勝蔵《顔》昭和6年

第8部 日仏画家の競艶

満谷国四郎《手鏡を見る少女》大正4年頃

【出品作品数】

121点

【関連行事】

(1) トーク会「石を磨く—星野桂三さんのお話を聞く」

話者：星野桂三氏、星野万美子氏（星野画廊）

聞き手：関純子（関西テレビ放送アナウンサー）、植田彩芳子

日時：2023年7月16日（日）午前10時30分～正午

場所：3階フィルムシアター

参加費：無料（ただし本展覧会入場券〈半券可〉が必要）

参加者：104名

(2) 夏休み 親子でアート鑑賞「自分だけの名品を見つけよう！」

日時：2023年7月23日（日）午後1時～3時

場所：6階展示室（定員15組30名）

参加費：無料（ただし本展覧会入場券〈半券可〉が必要）

参加者：定員に満たず、中止

(3) シンポジウム「近代京都絵画史研究を振り返る：京都、むかしがたり」（共催：明治美術学会）

第1部 講演「京都の近代日本画再評価と星野画廊」

講師：上蘭四郎氏（笠岡市立竹喬美術館前館長）

第2部 座談会 上蘭四郎氏、榊原吉郎氏（京都市立芸術大

学名誉教授）、廣田孝氏（京都女子大学名誉

教授）、星野桂三氏 司会：植田彩芳子

日時：2023年8月5日（土）午後1時30分～5時

場所：別館ホール

参加費：無料（ただし本展覧会入場券〈半券可〉が必要）

参加者：121名

(4) ワークショップ「貼り絵でオリジナルうちわを作ろう！」

日時：2023年8月11日（金・祝）①10時30分～正午 ②午後1時30分～3時

場所：別館2階講義室

参加費：700円（材料費・税込）ほか、本展覧会入場券〔半券可〕が必要

参加者：計26名

(5) 星野桂三さんによるギャラリートーク

日時：2023年7月21日（金）、8月4日（金）、18日（金）、9月1日（金） 各日午後5時～6時

場所：4階・3階展示室

講師：星野桂三氏

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：各日31名、42名、61名、51名

(6) 追加講演会「少女たち展ができるまで—学芸員ウラバナし」

講師：植田彩芳子（当館主任学芸員）

日時：2023年8月19日（土）10時30分～正午

場 所：3階フィルムシアター

参加費：無料（ただし、本展覧会入場券〔半券可〕が必要）

参加者：58名

(7) 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：2023年8月11日（金・祝）午後6時～、8月20日

（日）午後1時30分～、8月25日（金）午後6時～、
8月27日（日）午後1時30分～

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：12名（8/11）、25名（8/20）、21名（8/25）、35
名（8/27）

③ もしも猫展

会 期：2023年9月23日（土・祝）～11月12日（日）
〔44日／51日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

*金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし10月9日（月・祝）は開館し
10月10日（火）が休館）

会 場：京都文化博物館 3階・4階特別展示室

入場料：一般1,600円（1,400円）、大高生1,000円（800
円）、中小生500円（300円）

※（ ）内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、読売テレビ

協 力：名古屋市博物館

後 援：（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光
協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：有賀 茜

入場者：30,742人（1日平均698.7人）

【概 要】

「もしも、うちの猫が人のように話したら？」そんな想像をしたことはないだろうか。人間以外の何かを人間になぞらえることを擬人化とよぶが、天保12年（1841）頃から、浮世絵師の歌川国芳は猫を擬人化したり役者を猫にしたりした作品を次々と発表した。本展では猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さに着目した。名古屋市博物館の協力をいただいて、これまでとは異なる国芳作品の魅力、また擬人化作品の意義を問う展示である。

本展は、「もしも、うちの猫が人のように話したら？」という問いかけに始まり、猫をはじめとする動物や植物、概念などの擬人化表現をテーマに開催した。とくに天保12年（1841）頃から、猫を擬人化したり役者を猫にしたりした作品を次々と発表した歌川国芳にスポットをあて、総数135件の作品を展示した。

会場内ではほとんどすべての作品を撮影可とし、フォトスポットの設置や作品の複製にさわれる工夫、またリアル脱出ゲームとのコラボレーションを行った。こ



「もしも猫展」ちらし

うした工夫によって、当館の固定客層とは別に、若い入場者の姿が目立ち、SNSでも好評を得ることができた。また、海外からの観光客が増えてきたこともあり、猫や浮世絵といったキャッチーなテーマに関心を寄せていただいた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

序章 猫を描く人

落合芳幾 国芳死絵 名古屋市博物館蔵（高木繁コレ
クション） 文久元年

歌川国芳 たと糸尽の内 個人蔵 嘉永5年

第1章 くらべてみる

歌川国芳 流行猫の曲鞠 個人蔵 天保12年

歌川国利 新版猫の玉のり 個人蔵 明治28年

歌川芳春 猫角力あそび 個人蔵 明治時代

第2章 擬人化の効能

重要文化財 鼠草子絵巻 巻3・5 サントリー美術館
蔵 室町～桃山時代

歌川国芳 道外十二支 名古屋市博物館蔵（高木繁
コレクション） 安政2年

望斎秀月 新版ねこの温泉 個人蔵 明治18年

歌川国芳 玉取り 名古屋市博物館蔵

江戸時代

第3章 おこまものがたり

浮田一蕙 狐嫁入図 名古屋市博物館蔵

嘉永2年

歌川国芳 忠孝加々見山 個人蔵 弘化4年

歌川芳藤 新版猫の温泉 個人蔵 明治21年

小林幾英 猫の運動尽 個人蔵 明治20年

第4章 人、猫になる

歌川国芳 猫のおどり 個人蔵 天保12年

歌川国芳 つくものけん 名古屋市博物館蔵（高木
繁コレクション） 弘化4年

特集 おしゃべりな顔、百面相

歌川国丸 おいらん ほか 個人蔵 文化文政年間

第5章 国芳のまなざし

歌川国芳 猫身八毛意 個人蔵 天保12～13年

歌川国芳 たこさかな 個人蔵 天保12～13年

終章 もしも…。

歌川国芳 流行猫の曲手まり 個人蔵

【出品作品数】

135件

【関連行事】

(1) 講演会 「国芳、猫を描く」

講師：津田卓子氏（名古屋市博物館 学芸員）

日時：2023年10月7日（土）午前10時30分～正午

場所：3階フィルムシアター

参加費：無料※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要/要事前申込

参加者数：153名

(2) 夜猫（にゃいと）ミュージアム

日時：2023年10月8日（日）午後6時～8時

場所：6階和室、4階・3階特別展示室

参加費：特別チケット2,200円（一般のみ）

参加者：125名

(3) 展覧会担当学芸員によるギャ（ニャ）ラリートーク

日時：2023年9月27日（水）、10月4日（水）各日午後2時～、10月22日（日）午前11時～

場所：4階・3階特別展示室

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：46名（9/27）、41名（10/4）、53名（10/22）

④ 「Kyoto Art for Tomorrow 2024 —京都府新鋭選抜展—」

会期：2024年1月20日（土）～2月4日（日）

開室時間：午前10時～午後6時まで

*金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会場：3階展示室、別館ホール

入場料：（3階展示室）一般500円（400円）／大学生400円（320円）、高校生以下無料（別館ホール）無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館

後援：経済産業省、文化庁、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：洲鎌佐智子

入場者：21,734人（1日平均 1,358人）



「Kyoto Art for Tomorrow 2024 —京都府新鋭選抜展—」ちらし

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、その創造的な作品を京都から積極的に発信しようとする企画である。また別館ホールでは昨年度新鋭展

最優秀賞受賞者の山本 真澄氏による特別出品「まれびと」を紹介。

【出品作家】

赤松加奈、出口雄樹、井上結理、岩崎萌森、隗楠、宇野湧、小笠原周、沖見かれん、尾崎晴、木田陽子、北浦雄大、北村侑紀佳、久保木要、佐々木萌水、清水佑季、杉本奈奈重、高木智子、高瀬葉菜、竹下麻衣、張諒太、土取郁香、榎木野淑子、西久松友花、西久松綾、西村涼、服部幸、原菜央、藤田紗衣、ベーハイム雪絵、ラオレンティア、堀奏太郎、堀花圭、前田あかね、美馬摩耶、三宅佑紀、宮崎菖子、森夕香、八木佑介、山田真実、山本理恵子、吉浦真琴、六根由里香
(五十音順)

【特別出品作家】

山本真澄 「まれびと」

1985年生まれ

2010年京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース卒業

2009年第9回佐藤太清賞公募美術展日本画の部特選

2015年第3回美術新人賞デビュー準グランプリ

2019年山本真澄個展 こども+○△□(ギャラリー和田/東京)

京都日本画新展 大賞

2020年山本真澄個展(松坂屋名古屋店)

日本画新世紀(阪神百貨店/大阪)

新春三越美術特選会(日本橋三越本店/東京)

2021年山本真澄個展 祈りのかたち(長洞堂画廊/岐阜)

2022年台北アートフェア(Neptune Gallery/台湾) International Invitational Group Show (Oltre Gallery/オーストラリア) ~共に前へ~2023年カレンダー原画展(岡山国際ホテル)

2023年 Kyoto Art for Tomorrow 2023京都府新鋭選抜展最優秀賞

山本真澄個展 同じ空の下(Neptune Gallery/台北)

山本真澄個展 虹の麓には(京都高島屋)

【出品作品数】

本展41点、特別出品作1点

【関連行事】

(1) 特別展示作家によるスペシャルトーク

日 時：1月21日(日) 午前11時~12時30分

会 場：3階フィルムシアター、別館ホール

参加人数：58名

(2) 出品作家によるギャラリートーク

日 時：1月20日(土)、1月27日(土) 各日午後2時~3時

会 場：3階展示室

参加人数：それぞれ38名、64名

⑤ コスチュームジュエリー 美の変革者たち

シャネル、ディオール、スキャパレッリ、小瀧千佐子コレクションより

会 期：2024年2月17日(土)~4月14日(日)

[50日/58日]

開室時間：午前10時~午後6時まで

*金曜日は午後7時30分まで(入室は30分前まで)

休館日：月曜日

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,600円(1,400円)、大高生1,100円(900円)、中小生500円(300円)

※()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、MBSテレビ、京都新聞

監 修：小瀧千佐子

特別協力：William Wain(コスチュームジュエリー研究者/イギリス、ロンドン)

学術協力：Deanna Farneti Cera(コスチュームジュエリー研究者/イタリア、ミラノ)

協 力：chisa、株式会社世界文化社

企画協力：株式会社キュレイターズ

後 援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：林 智子

入場者：23,245人(1日平均465人)

【概要】

本展は、コスチュームジュエリーの収集家であり研究者である小瀧千佐子氏のコレクションから選ばれた約450点のコスチュームジュエリーの優品を通してコスチュームジュエリーを紹介するもので、展覧会は3章で構成された。

第1章は、コスチュームジュエリーの黎明期から第二次大戦後にかけての展開を、20世紀初頭のモード界を代表する3人のデザイナー、シャネル、ディオール、スキヤパレルリの作品を、神戸ファッション美術館所蔵品のドレス等とともに紹介した。

第2章はコスチュームジュエリーのヨーロッパにおける展開を、1930年代の様々なオートクチュールメゾンの作品を通して紹介した。

第3章では、アメリカにおいて、コスチュームジュエリーがファインジュエリーの伝統にしばられずに自由な発達を遂げ、やがて大企業による工場での大量生産による安価で品質の安定したコスチュームジュエリーが供給されるようになっていく過程を、現在日本でも人気の高いミリアム・ハスケルやトリファリの作品をとおして紹介した。

本展は、コスチュームジュエリーに特化した国内初の特別展であった。コスチュームジュエリーとは、貴金属や宝石といった高価な素材を使用せずに、ガラスやメタル、時に半貴石などの素材を用い、衣服との相性を重要視してつくられた装身具で、現代日本で「アクセサリ」と総称される装身具の文化の原点であるが、コスチュームジュエリーは一部の愛好家を除いては馴染みのうすい名称であるともいえ、本展で広くコスチュームジュエリーの歴史を紹介できた意義は非常に大きい。

様々な装身具があふれる現代都市において、本展覧会を一部の愛好家のみならず広い層にどうアピールするかが大きな課題であり、陳列や広報に工夫をして開会に臨んだが、入場者からはおおむね好評を得た。

入場者は女性が多かったが、ワークショップ（ヴェネチアンビーズのネックレス制作）では男性の参加者もあり、完成後には試着をしたり感想を交わしたりと、思い思いに楽しむ様子がみられた。

小瀧氏による講演会では、事前応募による約150名の聴講者が熱心に聞き入る様子がみられた。講演の後にもうけられた質疑応答の時間には聴講者から様々な質問が寄せられ、個人の装いに関すること（「センスの磨き方」など）から、大きなテーマ（「日本のコスチュームジュエリーの未来」など）まで、来場者の関心がひろい範囲にわたっていることがうかがわれた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 美の変革者たち オートクチュールのための
コスチュームジュエリー

- ・ポール・ポワレ《夜会用マスク、ブレスレット「深海」》1919年[デザイン：ポール・ポワレ、制作：マドレーヌ・パニゾン]
- ・シャネル《ネックレス「ビザンチンクロス」》1960年頃[制作：ロベール・ゴッサンス]

第2章 躍進した様式美 ヨーロッパのコスチューム
ジュエリー

- ・コッポラ・エ・トッポ《チョーカー「花火」》1968年[デザイン：リダ・コッポラ、制作：コッポラ・エ・トッポ]
- ・リーン・ヴォートラン《イヤリング「サーカスのメリーゴーランド」》1945年頃[デザイン／制作：リーン・ヴォートラン]

第3章 新世界のマスプロダクション アメリカのコ
スチュームジュエリー

- ・ミリアム・ハスケル《ネックレス》1950年代[デザイン：フランク・ヘス、制作：ミリアム・ハスケル工房]
- ・トリファリ《ペアクリップ「テノールフィッシュとマーメイド」》1940年[デザイン：ジョセフ・ウィッツ、制作：トリファリ、クラスマン&フィッセル社]

【出品作品数】

455件

【関連行事】

(1) ワークショップ「ヴェネチアンビーズで楽しむ手作りネックレス」

概要：事前募集による一般参加者を対象に、ヴェネチアンビーズに関する解説とヴェネチアンビーズを用いたネックレスの制作を実施した。

講師：小瀧 千佐子 氏（本展監修者、コスチュームジュエリー研究者）

日時：2024年2月17日（土）①午前10時30分～12時30分
②午後2時～4時

場所：3階やすらぎコーナー

参加費：4,000円（材料費含む。ただし当日の本展覧会入場券が必要）

参加者：32名

(2) 講演会

概要：事前募集による一般参加者を対象に、本展覧会のみどころおよびコスチュームジュエリーの歴史に関する講演を行った。

講師：小瀧千佐子 氏

日 時：2024年3月2日（土）午前10時30分～正午
 場 所：3階フィルムシアター
 参加費：無料（ただし本展覧会入場券〈半券可〉が必要）
 参加者：150名

(3) コスチュームジュエリーマーケット

概 要：計15組の作家によるアクセサリ販売とアクセサリ
 づくりのワークショップ（事前申込不要、有料）
 を実施した。

日 時：2024年3月30日（土）、31日（日）午前11時～午後
 5時

場 所：別館ホール

参加費：入場無料

参加者：328名

(4) 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：2024年3月5日（火）、3月26日（火）各日午後2
 時～2時30分

場 所：4・3階展示室

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：30人（3/5）、34人（3/26）



「コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャンネル、ディ
 オール、スキヤパレツリ、小瀧千佐子コレクションより」ちらし

2023(令和5)年度特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	日数	入場者数	一日平均	形 態
四百年遠忌記念特別展 大名茶人 織田有楽斎	2023年4月22日～6月25日	57	18,424	323	共催
発掘された珠玉の名品 少女たち-夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより	2023年7月15日～9月10日	51	13,398	263	共催
もしも猫展	2023年9月23日～11月12日	44	30,742	699	共催
Kyoto Art for Tomorrow2024 -京都府新鋭選抜展-	2024年1月20日～2月4日	14	21,734	1,552	委託
コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャンネル、ディオール、スキヤパレツリ 小瀧千佐子コレクションより	2024年2月17日～4月14日	50	23,245	465	共催
計5件					

Ⅲ-3 映 画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2023.4.1～5.31	銀幕推し活-アイドル映画特集	波川伴五郎/雲母阪/江戸怪賊伝 影法師/金色夜叉/伊豆の踊子/隣りの八重ちゃん/河内山宗俊/若い人/綴方教室/兄とその妹/新諸国物語 笛吹童子/姉妹/ノンちゃん雲に乗る/たけくらべ/乳母車/米/元禄美少年記/絶唱/濡れ髪三度笠/新吾十番勝負/キューボラのある街/非行少女/五番町夕霧楼/薔薇の葬列/座頭市 あばれ火祭り/鬼龍院花子の生涯/近松門左衛門 鐘の権三/夢二	53	106	3,922
2023.6.1～8.2	【没後30年】映画俳優笠智衆特集	落第はしたけれど/一人息子/みかへりの塔/父ありき/晩春/麦秋/手をつなぐ子等/忘れられた子等/生きている画像/東京物語/野菊の如き君なりき/男はつらいよ	18	36	1,466

2023.6.20~7.23	EUフィルムデーズ2023 映画でつながるヨーロッパ	ルクセンブルク、ルクセンブルク/タイガーズ サンシーロの陰で/母/埋葬/ブラインドマン/愛についての歌/フェモクラシー 不屈の女たち/シチリアーノ 裏切りの美学/ケースがはばたく日/マッチ棒くずし/ライダーズ/恋するアナイス/答えをもつ男/ネズミは天国がお似合い/グラット/DJスカアラブ/とにかく見に来てほしい/アイスマイヤー曹長の選択/Let There be Light/光あれ/ムーン、66の問い/一人はみんなのために/模範社員/ひとつの青い花/カルメン/イニシエリン島の精霊/オレグ/Terra/MISS OSAKA/ミス・オオサカ	28	56	3,534
2023.7.16~17,24	祇園祭記念特別上映	祇園祭	3	6	465
2023.8.4~8.6 *8.3は準備日のため休映	第29回京都国際子ども映画祭	トータム/ワイルドツアー/海の輝き/短編プログラム(ホットチョコレート/ライカとニモ/氷を売る親子/カナリア/マーゴットの妹/勇気を出せ!/静かな目覚め)	3	8	491
2023.8.8~8.31	子どもと大人の眼差し-子ども映画特集	或る保姆の記録/原爆の子/風の中の子供/風の又三郎/蜂の巣の子供たち/鐘の鳴る丘 隆太の巻/鐘の鳴る丘 修吉の巻/鐘の鳴る丘 くらひの巻/あすなろ物語/黄色いからす/不良少年	21	42	1,566
2023.9.1~9.3	【第43回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール】中島貞夫とその時代	一心太助 天下の一大事/誇り高き挑戦/武士道残酷物語/関の弥太っぺ/893愚連隊/序の舞	3	6	434
2023.9.5~10.1	映画の中の少女たち	十字路/祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖/祇園小唄 絵日傘 狸大尽/淑女は何を忘れたか/むかしの歌/ひめゆりの塔/祇園囃子/山椒太夫/たけくらべ/姉妹/白蛇伝/初春狸御殿/キクとイサム	24	47	1,666
2023.9.17	山中貞雄監督を偲ぶ	人情紙風船 *屋の部のみ	1	1	67
2023.10.3~10.31	アウトローなヒーローたち-時代劇篇	丹下左膳余話 百万両の壺/闇の影法師/鞍馬天狗・江戸日記/治郎吉格子/弁天小僧/不知火校校/大江戸の伏見/椿三十郎/座頭市物語	17	34	1,325
2023.10.14~10.22	第45回びあフィルムフェスティバル in Kyoto 2023	完璧な若い女性/ホモ・アミークス/リテイク/ちょっと吐くね/鳥籠/サッドカラー/USE BY YOUTH/ただいまはいまだ/移動する記憶装置展/また来週/ふれる/Flip-Up Tonic/ParkingArea/逃避/うらぼんえ/ころざしと東京の街/リバーシブル/リバーシブル/肉にまつわる日常の話/Sewing Love/じゃ、また。/ハーフタイム/不在の出来事/革命狂時代/ヒロシマから遠く離れて/明日に向かって走れない!/空飛ぶ円盤を見た男1/空飛ぶ円盤を見た男2 銀幕死闘編/空飛ぶ円盤を見た男3 エネルギーマン/死ぬにはまにあわない!/暗くなるまで待てない!/夏子と長いお別れ/夏の思い出 異常快樂殺人者/DON'T LOOK BACK IN ANGER (ワンピース)/風櫃の少年/旅人は休まない/ホーリー・マウンテン/ボゼッション/あみこ/おやすみ、また向こう岸で/くじらのまち/WANDA ワンダ/ビハインド/1/880000の孤独 上映以外に開会式、アフタートーク等あり	8	20	537
2023.11.1~11.30	【京都文化博物館開館35周年記念企画】日本のハリウッド・京都映画特集 【京都文化博物館開館35周年記念企画】『御詠治郎吉格子』活弁ライブ	忠臣蔵/祇園の姉妹/赤西蠣太/宝の山に入る退屈男/京洛の舞/王将/源氏物語/鳳城の花嫁/家光と彦左と一心太助/御詠治郎吉格子/切腹/三匹の侍/雨月物語 『御詠治郎吉格子』(11月25日昼の部のみ) 141名	22	44	1,577
2023.11.16~11.19	イメージフォーラム・フェスティバル 2023 ギャザリング・クラウド	ハロー、ワールド!/口がきけない/供物/蝕/ライト・マター/心の風景/文化なくして国家なし/スティル・フリー/DVA/ウォーターフォール/ローズブラッド/パサディナ・フリーウェイ・スティルズ/プレイス・マッツ/原初の刺激/アナロジーズ/トウエルブ(最初の3パート...)/パノラマ/ルース・コーナー/脈動/"Yes, I Said Yes, I Will, Yes"/ビルディング/あら感星ちがい/Thing/太陽が真っ暗になったら見つけてあげる/One/バードソング/I stitch my skin to the ground/2022年10月5日、君は逝ってしまった。/The Stream XII-II/告白夢/何も変わらない/並んだLAND/秘密を教えてあげる/ナハトムジーク/STRAW/九龍東部の昔話/隧道漫歩/虫が土の中から出てくる時、人間になる/よだか/眼球の人/ザ・シューターズ/私は馬である/明るい音A/Who owns the story?/ソウのかたち/暁映/異郷/Sewing Love/デリバリー・ダンス・スフィア/mom is どこ/スピリャールト/ゆらめくグラフィット/ABITA/ザ・パーフェクト・ヒューマン/fur/ライカワアツとおぼえ	4	10	178
2023.12.1~12.3	京まちなか映画祭2023	黒い十人の女/雨月物語/恋文/侍タイムスリッパ/隠し砦の三悪人/ごはん	3	6	333
2023.12.5~12.27	【異界へのまなざし展協賛企画】映画にみる怪異の世界	弥次喜多 善光寺詣り/有馬猫/番町皿屋敷 お菊と播磨/美女と怪竜/赤胴鈴之助 三つ目の鳥人/東海道四谷怪談/恋や恋なすな恋/大魔神/怪談累が淵	18	35	1,237

2023.12.9,10	VIDEO PARTY 2023	魔法の紫ウサギ／パーツ／不在の存在／なんでやねん！／愛撫-The caress/La caresse／山火事／ギャラリーでの一／Manipulated Colorbars／春の日／Book／さや／Signify／扉の向こう側に／Inner City／次回、納豆ファンク「叫んで、おまめ！」／OPENING／Days in uncertainty 不確かな日々／ある日のモエレ／ゴンドラリー／呪殺の曼荼羅／落としもの／カゾクノキョリ／Beate／怪獣リユースとメシエ、デジタル刺繍ミシン編／きみの感触／4 Little Swans?／ワン・トゥー・スリー／FUSI GEA／Gideon's Tale／Midnight Special／お絵描きは孤独／nowhere／Trickle／MindGames 'I am Here' 20170915-1025／女の会話～The Age of 27～／陛下と丞相、あと皇后／ACTOR 1／Foton／裏小樽モンパルナス／43歳の夏休み／NO ONE CAME TO HELP／思洞／PurpleLineのTetsuyaizer／お墨さん パート2／＃The Speculative in the Spectacle／遠雷／魂のふるさとより／パーク／Earth／GIVE ME BACK MY PRECIOUS／宇宙血液／魔法使いに聞いてみた／護謨の中の吠える犬／Landscape Flicker／安吾のごときもの歩く／畢生／響／ナンゾヤ／your eyes／In circles／DANCE／too small to get／グランス／双翅軍雷攻／mikikikimimi／ニンジン は待ってこない／HACHIOJI TO DISMEMBER／稲荷遊技場／BUG STRIPE -CRACK／放課後の怪物／唯一／Sketch of Kyo (京) Vol.2～祇園祭～／Lowrider／Semordnilap／ワンネス／ludo_2／ゴ—／新月ウォーク／もも／微景／飛蚊症／患者の石／PREPARE TO MARCH!!／composition／★→←／マリンシークレット／本当の私が見える？／sleep issue／キャンディはいかが／スタァ錦肝／シンセリアリティ／SPOOKAI／abstraktes abstract／書動—泳泳—／Nino／ロックダウンボーイ①②③-remix- (烏丸御池バージョン) 展示作品：よこえれいな『Relief』	2	6	257
2023.12.15	映画と音楽の時空旅行-クラシックカーニバル×京都ヒストリカ国際映画祭	パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト	1	1	132
2024.1.4～1.21	春夏秋冬—四季を刻む映画	風の又三郎／銀嶺の果て／馬／流れる／太陽の季節／檜山節考／喜びも悲しみも幾歳月／太平洋ひとりぼっち	16	32	1,288
2024.1.23～1.28	第15回京都ヒストリカ国際映画祭	狂った一頁／ノースマン 導かれし復讐者／十三人の刺客／チャーリーとチョコレート工場／ベンジャミン・バトン 数奇な人生／用心棒／シャーロック・ホームズ／ツイゴイネルワイゼン／デッドマン／山猫／桜色の風が咲く／カメのように／うつつ光、うつる夜／TVアニメ『ONE PIECE ワノ国編』(892話・1071話)／スカーレット／FILIP／パーティー・オブ・フルズ／カラヴァッジョの影 ＊ろうじ店舗にてVR作品『MONO』を上映	6	18	866
2024.1.30～2.29	松竹下加茂撮影所100年記念特集上映	狂った一頁／鳥辺山心中／十字路／弁天小僧／黒手組助六／忠臣蔵／雪之丞変化／元禄快拳余譚 土屋主税／残菊物語／京洛の舞／わが恋は燃えぬ	20	40	1,139
2024.2.10～2.12	第26回 京都国際学生映画祭	Hellscape／The Crooker Lovers／Lost in Count／Between us／EX MACHINA／DOCOOK／Durian Trees／Hell-World Judge／喝采／Returning South／MICROWAVE LOVE／Fresh／The Steak／映画の夢／Life of Dongwoo／SEWING LOVE／脚本／ぐらんぱ・おりじなる／残酷な少年のテーゼ／適切な距離／ドロステのはてで僕ら／玉城ティナは夢想する	3	10	234
2024.2.17	第2回京都映画賞 授賞式・上映会	わたしの幸せな結婚	1	1	115
2024.2.23～25	UCF 3: UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL 3	MOD FUCK EXPLOSION／Crazy Dolls／蟹牡丹／サルビア姉妹／ねんねこりんりん／とまとびん／破壊する光は訪れる／GARNET／Far from the explosive form of fruit／ASCENSION／マリリン・マグダリー／オランダ人の写真／気流／プレバート (100フィート版)／鉱物学者／子午線通過／ハンマー／北半球／満潮／天使の楽園／エコー／回路計／影踏み／地球の石／大きな石小さな夜／TERMINAL USA／乱／Easter／王国	3	9	130
2024.3.1～3.31	アウトローなヒーローたち—現代劇篇	狂った果実／豚と軍艦／悪名／天国と地獄／エロ事師たちより人類学入門／ある殺し屋／緋牡丹博徒 お電参上	14	28	1,342
2024.3.5～17	蘇ったフィルムたち チネマ・リトロパート映画祭	私は彼女をよく知っていた／フィリバス／ハーレムの殺人／時は止まりぬ／無防備都市／カルブナー／メカジキの時機／火の島々／硫黄の山／シチリアの復活祭 (イースター)／海上の農民／黄金の放物線／漁船の群れ／オルゴソロの羊飼い／バルバーチャの一日／忘れ去られた人々／シシリーの黒い霧／ブッシュマン あるナイジェリア人青年の冒険／都会の名もなき者たち／スタンダリ 鐘はまだ鳴っている／マラーネの歌／女性として生きること／トンマーゾ／狂った一頁 [染色版]／異人と霧	12	24	1,133
2024.3.20	[上映と報告] 日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告	釈迦	1	1	168

2) 特別企画・共催事業

① 2023年度外部共催上映等の実績

◆EUフィルムデーズ in 京都

期 間：2023年6月20日～7月23日
共 催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関
会 場：3階フィルムシアター
内 容：EU代表部が加盟各国から集めた映画作品『ルクセンブルク、ルクセンブルク』『タイガーズ サンシーロの陰で』『母』『埋葬』『ブラインドマン』『シチリアーノ 裏切りの美学』『ケースがはばたく日』『マッチ棒くずし』『イニシエリン島の精霊』『オレグ』等28作品の上映。

鑑賞者数：3,534名（126名／1日）

◆第29回京都国際子ども映画祭

期 間：2023年8月4日～6日
共 催：キンダーフィルムフェストきょうと
会 場：3階フィルムシアター
内 容：世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『トーテム』『ワイルドツアー』『海の輝き』『ホットチョコレート』等12作品を上映。

鑑賞者数：491名（164名／1日）

◆第45回びあフィルム・フェスティバル(PFF) in Kyoto 2023

期 間：2023年10月14～22日
主 催：一般社団法人PFF（びあフィルムフェスティバル）
会 場：3階フィルムシアター
内 容：『完璧な若い女性』『ホモ・アミークス』『リテイク』『じゃ、また。』『革命狂時代』『ヒロシマから遠く離れて』『明日に向かって走れない!』『空飛ぶ円盤を見た男』『くじらのまち』等24作品の上映と受賞監督のトーク。

鑑賞者数：537名（67名／1日）

◆イメージフォーラム・フェスティバル2023

ギャザリング・クラウド
期 間：2023年11月16日～19日
共 催：イメージフォーラム・フェスティバル実行

委員会、ダゲレオ出版
会 場：3階フィルムシアター
内 容：『ハロー、ワールド!』『口がきけない』『供物』『蝕』『ライト・マター』『心の風景』『文化なくして国家なし』『スティル・フリー』『ナハトムジーク』『ゆらめくグラフィイト』『ABITA』等56作品の上映。

鑑賞者数：178名（45名／1日）

◇京まちなか映画祭2023 in 京都文化博物館

期 間：2023年12月1日～3日
主 催：京まちなか映画祭実行委員会
会 場：3階フィルムシアター
内 容：『黒い十人の女』『雨月物語』『恋文』『侍タイムスリッパ』『隠し砦の三悪人』『ごほん』の上映と安田淳一監督、バンヒロシ氏らのトーク。

鑑賞者数：333名（111名／1日）

◇VIDEO PARTY 2023

期 間：2023年12月9日～12月10日
共 催：VIDEO PARTY 実行委員会
会 場：3階フィルムシアター
内 容：『魔法の紫ウサギ』『パーツ』『不在の存在』『なんでやねん!』『キャンディはいかが』『スタァ錦肝』『シンセリアリティ』『SPOOKAI』『書動ー游泳ー』『Nino』等の上映とよこえれいな『Relief』のインスタレーション展示。

鑑賞者数：257名（129名／1日）

◇映画と音楽の時空旅行-クラシックカーニバル×京都ヒストリカ国際映画祭

期 間：2023年12月15日
共 催：京都ヒストリカ実行委員会、立命館大学
会 場：3Fフィルムシアター、別館ホール
内 容：『パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト』の上映と音楽コンサート。

鑑賞者数：132人（132人／1日）

◇第15回京都ヒストリカ国際映画祭

期 間：2024年1月23日～28日
主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都

撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学

共 催：KYOTO CMEX 実行委員会

会 場：3階フィルムシアター、6階和室、ろうじ店舗

内 容：『狂った一頁』『十三人の刺客』『チャーリーとチョコレート工場』『用心棒』『シャーロック・ホームズ』『山猫』TVアニメ『ONE PIECE ワノ国編』(892話・1071話)等の上映とカルメン・アッカプート、清水慎治、長峯達也、暮田公平、入江悠、片渕須直等のトーク。ろうじ店舗ではVR作品『MONO』を展示上映。

鑑賞者数：866名(144名/1日)

◇第26回京都国際学生映画祭

期 間：2024年2月10日～2月12日

共 催：公益財団法人大学コンソーシアム京都

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『Hellscape』『The Crooker Lovers』『Lost in Count』『Between us』『EX MACHINA』『DOCOOK』『Durian Trees』『Hell-World Judge』『喝采』『残酷な少年のテーゼ』等22作品の上映と入選監督と審査員のトーク。

鑑賞者数：234名(78名/1日)

◇UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL 3

期 間：2024年2月23日～25日

共 催：アンダーグラウンド映画祭実行委員会

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『MOD FUCK EXPLOSION』『Crazy Dolls』『蟹牡丹』『サルビア姉妹』『ねんねこりん』『とまとぴん』『破壊する光は訪れる』『オランダ人の写真』『影踏み』『地球の石』等28作品の上映。

鑑賞者数：130名(43名/1日)

◇蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭

期 間：2024年3月5日～17日

共 催：ボローニャ復元映画祭、国立映画アーカイブ

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『私は彼女をよく知っていた』『フィリバス』『ハーレムの殺人』『無防備都市』『カルプナー』『メカジキの時機』『火の島々』『硫黄の山』『忘れ去られた人々』『シシリーの黒い霧』『異人と霧』等25作品の上映と森宗厚子、中西香南子のトーク。

鑑賞者数：1,133名(94名/1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け育成・普及事業

◇第43回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール 中島貞夫とその時代

期 間：2023年9月1日～3日

共 催：日本映像学会関西支部

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『一心太助 天下の一大事』『誇り高き挑戦』『武士道残酷物語』『関の弥太っぺ』『893愚連隊』『序の舞』の上映とトーク。

鑑賞者数：434名(145名/1日)

作担当、西川文恵(2009年松竹チーム助監督担当)を講師に、映画づくりや自分の夢を実現するために必要な人的なネットワークづくりの実例を講演。

鑑賞者数：41名(41名/1日)

◇フィルムメーカーの悩み-人的ネットワークの作り方

期 間：2023年10月30日

共 催：第36回東京国際映画祭実行委員会

会 場：東京ミッドタウン日比谷 BaseQ HALL 1

内 容：京都フィルムメーカーズラボの過去の参加者3名(山崎樹一郎2012年東映チーム美術担当、宮本万里2021-22年東映チーム製

◇第16回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2023-24)

期 間：2024年1月26日～31日

主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 [京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共 催：第33回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館—大阪、KYOTO CMEX 実行委員会

協 力：京都クロスメディア推進戦略拠点
 会 場：東映京都撮影所、松竹撮影所、当館
 内 容：世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ（公用語：英語）。Web公募の結果、ラボとマスターズセッション含め182名（オーストラリア、バングラデシュ、ブルガリア、ブルガリア/シリア、カナダ、チリ、中国、クロアチア、デンマーク、エクアドル、フィリピン、グアテマラ、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル/パレスチナ、イタリア、ケニヤ、リトアニア、マレーシア、メキシコ、ネパール、ポーランド、韓国、セルビア、シンガポール、南アフリカ、スウェーデン、台湾、タイ、トルコ、ウガンダ、アメリカ、ヴェトナム、日本、イギリス）の応募。時代劇製作には18名が参加となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人（照明監督/東映）、高橋剣（プロデューサー/東映）、永島聡（プロデューサー/松竹）監修の時代劇製作ワークショップを開催。

参加人数：18名

◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

期 間：2024年1月26日～28日

主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会〔京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都

撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共 催：第33回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTO CMEX実行委員会

協 力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会 場：3Fフィルムシアター、別館ホール、東映京都撮影所、松竹撮影所、旧武徳殿

内 容：京都フィルムメーカーズラボ参加者+マスターズセッション参加者（20名）、TVアニメ『ONE PIECE』のスタッフの清水慎治（プロデューサー）、長峯達也（監督）、暮田公平（監督）、赤堀哲嗣（制作）そして八木毅（特撮監督）、キアラ・トロイージ（VR作家）、ヴァレンティーナ・ベローモ（ヴェネツィア・ビエンナーレBCCディレクター）による講演。

鑑賞者数：698名（100名/1日）

◆【上映と報告】日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告

期 間：2024年3月20日

共 催：国立映画アーカイブ

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『釈迦』の上映と富田美香、エイドリアン・ウッドのトーク。

鑑賞者数：168名（168名/1日）

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2023年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2023.4.1～5.31	銀幕推し活-アイドル映画特集
2023.6.1～8.2	【没後30年】映画俳優笠智衆特集
2023.6.20～7.23	EUフィルムデイズ2023 映画でつながるヨーロッパ
2023.7.16,17,24	祇園祭記念特別上映
2023.8.4～8.6	第29回 京都国際子ども映画祭
2023.8.8～8.31	子どもと大人の眼差し-子ども映画特集
2023.9.1～9.3	第43回日本映像学会関西支部 夏期映画ゼミナール 中島貞夫とその時代
2023.9.5～10.1	映画の中の少女たち
2023.10.3～10.31	アウトローなヒーローたち-時代劇篇
2023.10.14～10.22	第45回びあフィルムフェスティバル in Kyoto 2023

2023.11.1～11.30	【京都文化博物館開館35周年記念企画】日本のハリウッド・京都映画特集
2023.12.1～12.3	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館2023
2023.12.5～12.27	【異界へのまなざし展協賛企画】映画にみる怪異の世界
2024.1.4～1.21	春夏秋冬－四季を刻む映画
2024.1.23～1.28	第15回京都ヒストリカ国際映画祭
2024.1.30～2.29	松竹下加茂撮影所100年記念特集上映
2024.2.10～2.12	第26回 京都国際学生映画祭
2024.3.1～3.31	アウトローなヒーローたち－現代劇篇
2024.3.5～3.17	蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭
2024.3.20	〔上映と報告〕日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告

映画事業担当者：森脇清隆、大矢敦子

Ⅲ－４ 京都学・歴彩館における展示

①「伊藤裕司・竹中浩展 一色の美－」

会 期：2023年9月16日（土）～11月5日（日）

〔46日間〕

休館日：第2水曜、祝日

開室時間：午前9時～午後6時 *土・日は午後5時まで

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・
歴彩館

担当者：洲鎌佐智子

入場者：1,820名（1日平均39.5名）

【概 要】

芸術院会員の漆芸家伊藤裕司と京都府無形文化財保持者の陶芸家竹中浩の作品の京都府への寄贈記念展。

伊藤裕司は、彩漆を主たる技法とした上品な色調の作品。若い頃は、漆芸作家集団「フォルメ」を結成、造形に重心を置いた新しい漆芸表現を模索。その後は、花鳥など自然を主題にしたもの、『古事記』などの古典に取材したテーマで、独特の風情の彩漆の世界を展開してきた。竹中浩は、李朝のやきものに魅せられて作陶の道へと進み、白磁をはじめ、染付、鉄絵、色絵を手掛けてきた。青白磁も白磁と呼ぶ竹中が選択する白い色は、器形によって異なり、形にあわせた白い色を大切にしている。本展は、常に色を強く意識して作品づくりに向き合ってきた二人の工芸家の美意識の世界を紹介した展覧会である。

【主な出品作品】

伊藤裕司《浮雲》（1996）、《海神》（1998）、《つらつ



「伊藤裕司・竹中浩展 一色の美」ちらし

ら椿》、《小牝鹿》（2020）

竹中浩《白磁面取瓶》（2002）、《白磁シノギ盒子》（2009）、《椿文陶箱》（2019）

【出品作品数】 59点

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日 時：2023年9月28日（木）、10月5日（木）、
10月19日（木）

午後2時30分～（30分程度）

場 所：1階展示室内

担 当：洲鎌佐智子

参加者数：9月22日19名、10月23日35名、10月
27日12名

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 橋本章 ・京都の口承伝承文化に関する研究③
植田彩芳子 ・近代京都絵画研究～花鳥画家および渡
欧画家を中心に
村野正景 ・当館所蔵の考古資料にかかる基礎的研究
4
清水智世 ・「近現代京都の作家と芸術団体に関する総
合的研究⑤」
有賀茜 ・原家文書の翻刻および伝存資料の調査研
究
佐藤稜介 ・戦国期における京都・山城地域の政治権
力に関する研究2

畑 智子 ・幕末・明治前期の京都における漢学者サー
クルー三国幽眠を中心に（3）

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 西山 剛 ・「博物館展示を活用した人権意識向上のた
めのワークシート作成」世界人権問題研究センター
清水智世 ・「日本のシュルレアリスム絵画の研究・調
査―京都の画家を中心に」（ポラ美術振興財団令和
5年度助成）

2) 出講・委嘱

- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議会委員
・令和5年度生活文化振興等推進事業に係る企画案審
査委員会委員（文化庁）
・滋賀県立陶芸の森あり方に関する懇話会委員
・令和5年度甲賀市指定無形文化財信楽焼保持者認定
検討委員会委員
・京都国立近代美術館令和5年度第1回美術作品購入
等評価員
・京都国立近代美術館令和5年度第2回美術作品購入
等評価員
・令和5年度京都国立博物館買取評価委員
・令和5年度京都市美術館美術品等評価会議委員
・愛知県陶磁美術館資料委員会委員
・第43回京都工芸美術作家協会展審査
・第23回福知山市佐藤大清賞公募美術展審査
・「2023」（兵庫）県展審査員
森脇清隆 ・文化庁アーカイブ中核拠点形成モデル事
業検討委員
・京都府デジタルアミューズメントアワード審査委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・京都府太秦フェスティバル実行委員（副実行委員長）
・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委
員
・京都国際学生映画祭企画検討委員

- 橋本章 ・京都祇園祭の山鉾行事歴史資料調査事業
委員
・祇園祭山鉾装飾品等審議委員会委員
・久御山町旧山田家住宅保存活用計画検討委員会委員
・日本民俗学会第34期理事・評議員
林 智子 ・九州国立博物館買取評価員
・祇園祭山鉾装飾品等専門委員
西山 剛 ・東京大学史料編纂所共同研究院「都市図
解析プロジェクト」
・世界人権問題研究センター 登録研究員
・北野文化研究所 特別研究員
植田彩芳子 ・滋賀県立美術館協議会専門委員〔収蔵
品収集審査部会〕
大矢敦子 ・芸術文化振興基金運営委員会映画祭等専
門委員会専門委員
・「日本映画の海外発信事業（海外映画祭への出品等
支援事業）」企画案選定委員
・立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセン
ター客員協力研究員
佐藤稜介 ・令和5年度九州国立博物館文化財評価員

3) 業 績

① 論文・著作

洲鎌佐智子 ・「風を主題とした小林祥晃」『小林祥晃展－風の記憶－展図録』所収 2023年

橋本 章 ・《資料紹介》「祇園祭・郭巨山御神体人形の古衣裳について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第36集、2024年3月)

森脇清隆 ・「山根貞男最後の書『映画を追え』をめぐって」、映画芸術484号所収、映画芸術社、2023年7月

・「京都の映画作りの伝統を文化資源にする」、映画人が語る 日本映画史の舞台裏」所収、森話社、2023年10月

西山 剛 ・特別展『大名茶人 織田有楽斎』図録編集および資料解説、コラム

・「中世京都の魚商人に関する新しい歴史像」『GLOBE』No.116、世界人権問題研究センター

植田彩芳子 ・「明治期京都の日本画教育－岡倉天心からの影響と展開」(『國華』1538号、2023年12月)

・「近代京都絵画の展覧会史を振り返る」(『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第36集、2024年3月)

・「忘れられた渡欧画家たち－1910年代初頭のパリ－」(『発掘された珠玉の名品 少女たち－夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより』青幻舎、2023年7月)

・「梶原緋佐子初期作品研究－社会の底辺を生きた女性を描く」(『作品紹介 梶原緋佐子《廓美人図》1922～24年頃、旧三栞楼所蔵」(高木博志編『近代京都と文化「伝統」の再構築』思文閣出版、2023年9月)

村野正景 ・「第1章 桃山陶器に出会う」(『桃山陶器に出会う 桃山デザイン』/京都市立芸術大学 畑中研究室/2023年4月)

・「学校所在資料の調査・研究について」(『月刊考古学ジャーナル』783/ニュー・サイエンス社/2023年6月)

・「海外考古学事情 (25) 中米エルサルバドルの考古学：文化遺産国際協力の観点から」(『月刊考古学

ジャーナル』790/ニュー・サイエンス社/2023年12月)

・「京の史新40 学芸員の視点から 日本考古学の祖・藤貞幹」(『京都新聞』/京都新聞社/2024年1月10日)

・「レプリカのもつ情報と価値」(『拡大する文化財・文化遺産：博物館資料新論』/雄山閣/2024年2月)

・「この方、何者？藤貞幹の学問と情熱－「日本考古学の鼻祖 藤貞幹」展によせて－」(『文化財レポート』37/2024年3月)

・「学校ボランティア主体の学校博物館づくり－京都市立翔鸞小学校の事例研究－」(『東アジア考古学の新たな地平 宮本一夫先生退職記念論文集』/中国書店/2024年3月)

・『京都文化博物館 別館 重要文化財建造物 旧日本銀行京都支店のいま・むかし・みらい』(京都府京都文化博物館/2024年3月)

清水智世 ・「戦時下における京都の前衛画家に関する研究－北脇昇と小牧源太郎を中心に」(『鹿島美術研究 (年報第39号別冊)』鹿島美術財団、2023年7月)

・『『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本』(速水豊・弘中智子・清水智世編集執筆/青幻舎/2024年1月)

有賀 茜 ・「解説 森寛斎筆 古柏猴鹿之図」(『國華』第1538号 (國華社、2023年12月)・有賀 茜・松井直人・吉野健一「翻刻『臥游集』(京都府立京都市学・歴史館蔵) (三)』(『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第36集、2024年3月)

佐藤稜介 ・「京の史新 学芸員の視点から34 戦国期の足利将軍」(京都新聞/2023年6月28日)

畑 智子 ・「翻刻 「一洗堂年表」(明治編)－三國幽眠の日記」(『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第36集、2024年3月)

② 発表・講演

森脇清隆 ・「ジャパン・コンテンツの悠久と先端～京都で学ぶ映画～」講演、大学コンソーシアム京都、2023年11月18日

- ・「京都芸術劇場日本芸能史～時代劇映画の歴史」講演、京都芸術大学春秋座、2023年11月27日
- ・「ヒストリカ・スペシャル TVアニメ『ONE PIECE』ワノ国編完結記念スタッフが選んだ2話上映&トーク」コーディネーター、京都文化博物館、2024年1月27日

橋本章 ・「承久の乱における伏見周辺の状況～『吾妻鏡』の記述から～」伏見城研究会 御香宮神社参集殿 2023年4月21日

- ・「山鉾の装飾品を守る活動と努力」祇園祭山鉾連合会創設百周年記念の集い 京都ホテルオークラ 2023年11月11日
- ・「あやかしと魔よけの世界」4館連携講座、3階フィルムシアター、2023年12月23日
- ・「織田信長～イメージの成立と変遷～」岐阜市生涯学習センター講座、ハートフルスクエアG、2024年1月27日
- ・「祇園祭の歴史について」日本災害医学会・特別講演3、日本災害医学会、2024年2月24日、みやこメッセ

西山 剛 ・「鳥獣類を扱う人々と差別」浄土宗中央三派「人権研修会」2023年6月

- ・「芸能空間としての社頭と河原」藝能史研究会第2回東京特別集会 2023年12月

村野正景 ・「集古帖の瓦帖が語る藤貞幹の古瓦譜編集過程」(第115回歴博フォーラム、いにしへの「玉手箱」近世好古図録をひらく)於：国立歴史民俗博物館/2023年4月1日)

- ・「ミュージアムDXと社会的課題に取り組む博物館：京都府京都文化博物館の実践と展望」(公立小松大学次世代考古学研究センター・セミナーシリーズ第1回「博物館DXと次世代考古学」)於：公立小松大学/2023年7月22日)
- ・「京都文化博物館別館を深掘りする」(まいまい京都オンラインサロン/オンライン/2023年8月28日)

・「「アートと考古学」の種を共に蒔く、育てる～近世好古学から現代まちづくりまで～」(Online ART&ARCHAEOLOGY FORUM 第3回/オンライン/2023年9月8日)

・「Museo escolar: nuevos retos para innovar la colaboración entre museos y escuelas」(IX Coloquio Internacional de Arqueología, la Fundación Wiese/オンライン/2023年9月28日)

・「エコミュージアムの発想とまちづくり」(第13回下鴨風土記研究/於：京都府立京都市・歴史館/2023年10月21日)

・「ミュージアムDXへの取組：重要文化財 旧日本銀行京都支店」(近代建築WEEK2023ワークショップ 三条通の近代洋風建築群～デジタル技術に触れて楽しむ～)於：京都文化博物館/2023年11月14日

・「メキシコと日本の学校博物館の比較：応用可能性と課題」(文化遺産国際協力コンソーシアム 第21回中南米分科会/於：東京文化財研究所/2023年12月22日)

・「文化振興・地域活性化に向けた ミュージアムDX：京都文化博物館の実践と展望」(京都府議会 文化生活・教育常任委員会 出前議会/於：建仁寺/2024年2月9日)

・「三条通の歴史資源とまちづくり：地域と博物館の挑戦」(狂言歌謡体験と三条通り歴史講座/於：カンデオホテルズ京都烏丸六角/2024年2月10日)

清水智世 ・「京丹後アートフェスティバル2023 小牧源太郎展ギャラリートーク」(大宮ふれあい工房/2023年10月22日)

・「シュルレアリスムと東京・京都」(福沢一郎記念館・伊藤佳之氏との対談/板橋区立美術館/2024年3月23日)

佐藤稜介 ・「歴史・文献担当学芸員の博物館活動」(奈良大学 博物館実習 I 外部講師/於：奈良大学/2023年6月24日)

・「教育現場と博物館をつなぐ～博学連携の入り口と出口～」(2023年度立命館学校教育研究会秋季大会/於：立命館大学朱雀キャンパス/2023年11月12日)

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第36集】

発行：京都文化博物館

発行日：2024年3月31日

印刷：ITP

体裁：A4版、114ページ

編集担当：洲鎌 佐智子

掲載記事：

[論考]

・村野 正景・平田 健

井上式地理歴史標本の製作工程に関する覚書
—台湾原住民模型標本『博多焼熱帯地方人形』について—

[研究ノート]

・植田 彩芳子

近代京都絵画の展覧会史を振り返る

・学習普及連携室

京都文化博物館の外国人来場者調査

：データから外国人対応のあり方を考える

[資料紹介]

・橋本 章

祇園祭・郭巨山御神体人形の古衣裳について

・村野 正景・河内 一浩

京都府立鴨沂高等学校所蔵の埴輪

：学校資料の考古学的・博物館学的分析

・有賀 茜・松井 直人・吉野 健一

翻刻「臥游集」(三)

・畑 智子

翻刻「一洗堂年表」(明治編) —三國幽眠の日記

2) 年報

【京都文化博物館2022(令和4)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2023年9月30日

印刷：ITP

体裁：A4版、66ページ

編集担当：岡田 友美、畑 智子

3) 展覧会図録

【四百年遠忌記念特別展「大名茶人 織田有楽斎」】

編集：京都文化博物館、サントリー美術館、読売新聞社

発行：読売新聞社

デザイン・制作・印刷：ニューカラー写真印刷

体裁：A4版、216ページ

発行日：2023年4月22日

発行：青幻舎

体裁：B5版、200ページ

発行日：2023年8月4日

【『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本】

編集・執筆：速水豊、弘中智子、清水智世

執筆：永井敦子、副田一穂、林田龍太、菊屋吉生、
呉孟晋、大谷省吾

装丁・デザイン：加藤賢策、和田真季(LABORATORIES)

発行：青幻舎

印刷・製本：サンエムカラー

体裁：B5版、304ページ

発行日：2024年1月20日

【発掘された珠玉の名品 少女たち—夢と希望—そのはざままで 星野画廊コレクションより】

監修・執筆：上蘭四郎

執筆：植田彩芳子、堀宜雄、奥野克仁

デザイン：林琢真

編集：大谷幸恵

【Kyoto Art for Tomorrow 2024－京都府新鋭選抜展－】

編集・発行：京都府、京都文化博物館

体 裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、39ページ

発行日：2024年2月

V-2 音楽会

開催日	タイトル	参加者数
7/15（土）～16（日）	オペラ卒塔婆小町2日間全2公演	計240人
10/4（水）5（木）12（木） 12/14（木）20（水）	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート 5日間全8公演	計1,550人

V-3 京都アート・クラフトマーケット

2023年度より、他イベントとの差別化をはかり特別感を出すため、秋の1回開催とし、SNS広告に注力した結果、2022年度の2回開催合計入場者数（30,452

名）とならぶ動員となった。Instagramのフォロワーは1,391名（2024年4月現在）と、昨年度から約800名増。

【京都アート・クラフトマーケット】

	開催日	出展数	入場者数
京都文化博物館開館35周年記念 京都アート・クラフトマーケット2023	2023年10月7日（土）～10月9日（月・祝）	79ブース	30,367名

V-4 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2024年3月31日現在（2023年度）、78名のボランティアスタッフが活動している。内訳は、日本語48名、英語24名、その他の言語6名。朝9時45分から夜7時30分までの間、3交代制で2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行った。

ボランティアに対しては、2階総合展示の開始にあわせて研修会を設定し、担当学芸員より展示内容および展示室運営に関する総合的なレクチャーを行っている。

2) 生き方探究チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。2023年度は以下の学校の生徒を受け入れた。

- ・京都市立高野中学校 2023年5月9日（火）～5月12日（金） 4日間 2名

- ・京都市立京都御池中学校 2023年5月23日（火）～5月26日（金） 4日間 2名

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2023年度の来館件数は71件であった。このうち解説を行ったのは、29件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが

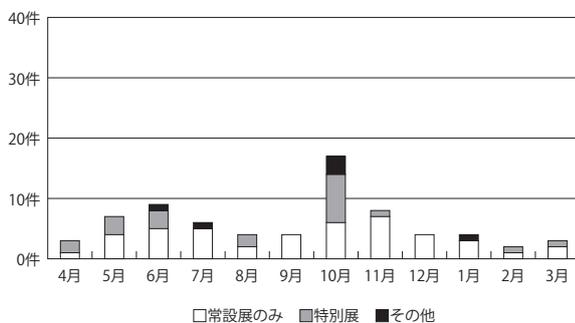
主体で、全体の7割を占めるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も少なくない。学校の区分では大学が一番多く、高校、中学校、小学校が続く。

本年度は、6月、10月、11月の団体申込みが多かった。

【2023年度団体見学案内件数】

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	57	139	294	149	77	171	706	309	236	109	29	60	2,336
来館件数	3	7	9	6	4	4	16	8	4	4	3	3	71
解説件数	2	4	3	4	3	3	7	1	0	2	0	0	29

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	9
中学校	13
高校	15
専門学校	1
大学	16
支援学校	0
一般	16
合計	70

V-5 博物館実習

【実施期間】

2023年8月21日（月）～8月25日（金）までの5日間

【実習生】

京都産業大学	1名
龍谷大学	1名
立命館大学	1名
同志社大学	1名
大谷大学	1名
奈良女子大学	1名
京都大学大学院	1名
奈良大学	1名
八洲学園大学	1名
京都ノートルダム女子大学	1名（計10名）

【実習内容／担当者】

- ・博物館の活動について（概説）／洲鎌佐智子
- ・博物館の活動について（施設編）／植田彩芳子、
上村茉莉絵
- ・美術資料の展示／清水智世、有賀茜
- ・美術資料の取り扱いについて／植田彩芳子
- ・映像資料の取り扱いについて／森脇清隆、大矢敦子
- ・民俗資料の取り扱いについて／橋本章
- ・考古資料の取り扱いについて／村野正景
- ・染織資料の取り扱いについて／林 智子
- ・美術工芸品の取り扱いについて／洲鎌佐智子
- ・文献資料の取り扱いについて／西山 剛・橋本章
- ・学習普及連携について／村野正景・植田彩芳子・
上村茉莉絵

V-6 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本86,549冊、逐次刊行物3,247タイトル（84,334冊）を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が36,013冊、展覧会図録が17,215冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書

資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は1,921件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が266冊、展覧会図録が463冊、年報・紀要類が286冊であった。

2) 広報

チラシ・ポスターの制作をはじめ、ホームページやSNS、新聞・フリーペーパー等の紙媒体、交通広告等、様々な媒体を使用し情報を発信している。広報媒体の特性をうまく使い分けて当館の情報に触れる機会を増やし、来館につなげられるよう今後も努めたい。

【2023年度の実績】

- ・各特別展・企画展および総合展示（前期・後期）の
チラシ・ポスター制作、DM発送
- ・ホームページ随時更新
- ・SNS（X [旧Twitter]、Facebook、Instagram [日本

語版・英語版]、YouTube) での情報発信

- ・烏丸御池駅・京橋駅に看板掲出、京都市地下鉄ドア
横に広告掲出（年間契約分）
- ・月間スケジュール制作、発送
- ・館周辺の看板制作
- ・その他、展覧会ごとに有効な媒体を検討し広報して
いる。

V-7 外部連携活動

1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力および館運営にかかる情報交換を円滑にする目的で、京都市内4館連携協力協議会（「京都ミュージアムズ・フォー」）が2009年6月12日に発足した。2023年度は学芸・事務の合同部会を1回、学芸・事務部会を各1回、3月に全体会議を開催した。また、以下の連携事業を実施した。

- ・京都ミュージアムズ・フォー連携講座の実施（年間5回）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・スタンプラリーの実施（実施期間：10月1日～11月30日）
- ・秋の特別展にて4館相互割引の実施

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

（関西の美術館・博物館、約400施設が参加）

2023年度は関西文化の日（2023年11月18日・19日）を「総合展示入場無料」とした。総合展示入場者は、1,113人であった。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2023」への参加】

今年度は、関西の2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）の美術館・博物館で構成する合計50施設が参加した。

当館は利用者に総合展示無料（1回）および特別展団体料金扱い（1回）の特典を付与し、併せて館内でぐるっとパスの冊子を販売した。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校と連携授業を実施した。学芸員の出前講座を通じて文化財に生徒が触れ、観察した。

3) 地域との連携

① 「京都文化次世代データセンター（仮称）」の構築のためのプロジェクト」

令和5年度文化芸術振興費補助金（Innovate MUSEUM事業）の補助を受け「京都文化次世代データセンター（仮称）」の構築のためのプロジェクトを展開し、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市学校歴史博物館、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、千總文化研究所、京都古文化保存協会、京都市生涯学習総合センターと連携して（1）人材育成事業、（2）データストック事業、（3）デー

タオープン化事業を行った。

（1）人材育成事業

最先端の技術を持つ業者やデジタルデータをまちづくり等に活かす実践の先駆者による実践的研修会を、合計32回実施し、のべ300人ほどの参加を得た。

- ①-1 企業・NPOによる技術研修会・情報交換会：
ニコン、OMDS、NPOフィールド、エリジオン、村田製作所他

- ①-2 橋本雄太氏（III F 画像のワンストップ生成技術の活用）、是住久美子氏（Wikipedia town）による研修会
- ②展示活用ワークショップ：京都先端科学大学の学芸員課程の学生4名が地域調べとデジタル活用。
- ③成果報告
 - シンポジウム「平安宮豊楽院の瓦の意義とデジタル化」（2023年10月15日、参加41名）
 - 報告会「真宗大谷派染織品調査報告会・研究会」（2024年1月24日、対面参加28名、動画配信視聴64名）

（2）データストック事業

京都の文化力の源となり、オープン化事業等の素材となるデジタルデータを合計約3万カット、生成した。本事業の目的たるデータセンター本格稼働に向け、他組織の資料を中核館に持ち寄ってデジタル化する実践を行い、フローと課題を明確化した。

- 地域資料：個人宅に所在していた京都の近代洋画壇の牽引者・太田喜二郎の日記（24冊、9312カット）、平安京跡出土考古資料（891点、2188カット）、古文書・国書類（20件、180カット、IR127カット）
- 写真資料：利用の難しかった黒川翠山撮影ガラス原板（937件）
- 学校資料：京都市内の学校で利用の教育資料（115件、1108カット、高精細3D：15点）、美術資料（22件、924カット）
- 企業資料：1555年創業の千總に所蔵される古文書類（1753件、4887カット）、写真（650件、3120カット）他
- まちなみ資料：エリジオン社の3D点群計測技術により、重要文化財建造物やまちなみを丸ごと3D化。

②【「きものの似合うまち・京都」推進事業「京都きものパスポート」(京都府共催)への協力】

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2020年より休止となっていた本事業だが、冊子で発行していたパスポートをWEBに移行して2023年より再開となった。当館は特典提供施設として、2023年10月1

（3）データオープン化事業

データストック事業等により得た各種データおよびその活用のあり方もオープンにするため、学芸員・地域住民・企業等での議論の上、内容を選択・編集し、公開した。なお事業は概ね、A) 紹介・公開すべき情報が何かについての調査、B) それに基づくコンテンツ内容の検討・制作、C) 制作物の検討の3ステップで行った。

- A) 調査（2023年10月12日-14日:回答50名、10月21日・22日:67名、11月4日・5日:104名）
- B) 制作物（文化遺産オンラインの他、以下のウェブサイト等に掲載した。）
 - 「三条のシンボル 旧日本銀行京都支店の3D動画」
 - 「みんなでETOKI 洛中洛外図屏風」
 - ※公開先：いずれも京都文化博物館 YouTube Channel www.youtube.com/@user-iq7du5wn6m
 - 「三条デジタルマップ」
 - ※公開先：<https://map-sanjo.jp/history-map>（今後、京の三条まちづくり協議会のサイトへ移行予定）
 - 「旧日本銀行京都支店のメタバース」
 - ※公開先：DOOR内に作成したルーム <https://s.door.ntt/TPgcoGi>
- C) 制作物の検討
 - シンポジウム「三条通の近代洋風建築群-デジタル技術に触れて楽しむ-」（2023年11月14日、参加者35名）

日～12月25日の期間、きもの姿で「きものパスポート」を提示した方に、総合展示無料、特別展団体料金適用の特典を提供した。

V-8 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館

活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示（映画鑑賞含む）の無料での鑑賞（B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金）
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引（B会員は同伴者1名様まで）
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円

- ・グループ会員（2名以上） 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

前年度に比べA会員、グループ会員、B会員のすべての会員区分で減少した。魅力のあるサービスの提供を行い、高齢者だけでなく若い世代の会員を獲得していく必要がある。

今後は、新規会員の獲得を目指すとともに、次年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会の活動内容の充実とサービスの向上を図りたい。

①会員数(近年の推移)

	(単位：名)		
	2023年度	2022年度	2021年度
A会員	291	309	338
グループ会員	95	100	101
B会員	219	225	229
計	605	634	668

②新規加入

	(単位：名)
A会員	56
グループ会員	19
B会員	92
計	167

③住所分布

	(単位：名)
京都市内	407
京都府内	50
近畿圏内	121
その他の府県	27

③-2 近畿圏内の内訳

大阪府	80
兵庫県	29
滋賀県	7
奈良県	3
和歌山県	2
計	121

2) 事業概要

① 協力企画

【文化講座】

- ・特別展「少女たち」関連イベント「トーク会 “石を磨く一星野桂三さんのお話を聞く”」に参加枠を設定

7月16日（日）（参加者 6名）

- ・文化財研修講座「野村碧雲荘」見学会 3月7日（木）、8日（金）（参加者12名）

② その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

V-9 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努めている。

1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の文化財保護資金貸付事業を行っている。

令和5年度は、貸付件数2件、貸付総額2300万円で、貸付対象事業は次のとおりである。

令和5年11月20日付貸付決定

▼宝積寺（京都府大山崎町）本尊剥離修理および本堂半解体修理

▼実相院（京都市左京区）菩薩像および厨子修理、襖絵板戸剥落修理

2) 文化財保護に関するよろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱えるさまざまな問題に対処するため、指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした文化財

保護のよろず相談窓口を文化博物館ホームページ上に引き続き開設した。

3) 文化財保護の啓発普及

①「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」第37号1500部を発行した。

② 文化財研修講座「野村碧雲荘見学会」開催

碧雲荘運営事業組合のご協力を得て、国の重要文化財「野村碧雲荘」の見学会を文化財研修講座として開催した。平成19年度の公開に始まり5回目の公開となり、多数のご応募をいただき抽選となった。

令和6年3月7日（木）、8日（金）
午前10時30分、午後1時30分、午後3時、
各回定員15名
各1時間程度の見学（無料）参加者83名

③ 公益財団法人京都古文化保存協会主催「第60回小中学生記者の文化財取材コンクール事業」への協力

文化財保護の次世代を担う小学生・中学生を対象に、取材を通して文化財への関心を深め、愛護の精神を養うことを目的として開催する本事業に後援し、令和5年度は3名に京都文化財団賞を授与した。

「京都文化財団賞受賞者」
〈記事の部〉
京都市立松原中学校3年 森 音琶さん
〈写真の部〉
京都市立松原中学校3年 橋本 歩実さん
〈はがき新聞の部〉
京都市立光徳小学校4年 八木 蒼大さん

V-10 「福寿園・お茶の文化賞」

株式会社福寿園 名誉会長 故 福井 正典氏の遺志を受け継ぎ、21世紀に京都からお茶にまつわる文化芸術がより多彩に、より根強く日本や世界に波及していくことを願って、令和4年度に「福寿園・お茶の文化賞」を創設し、「お茶の文化」について活躍する個人や団体を表彰している。

第2回となる令和5年度は、お茶の文化賞選考委員会による選考を経て、次のとおり大賞・奨励賞の受賞者を決定した。

■表彰式

日時：令和5年5月18日（木）午前11時～

場所：京都文化博物館 6階和室

■受賞者

〈大賞〉

NPO法人日本茶インストラクター協会

（受賞理由）日本茶インストラクター等の認定・普及等を通じてお茶の文化の継承と発展に尽力。

〈奨励賞〉

戸田 惺山氏

（受賞理由）持ち運びができる竹の茶室を用いて茶会を開き、茶の湯の魅力を発信。

V-11 京都文化博物館開館35周年感謝企画事業

開館35周年感謝企画として、博物館関係の団体等の協力も得て、期間中（10月1日～12月27日）に総合展示の無料開催やイベント、また、新たなミュージアムグッズ制作など多彩な企画を実施した。

	開催日	内 容	参加者数
総合展示室 無料観覧	10月1日 11月18・19日 12月24日	総合展示の無料観覧 10月1日（389人）、11月18・19日（1240人）、12月24日（954人）	2,583人
トークショー	12月9日	京都府警あやかし課の事件簿作者・天花寺さやか先生トークショー	58人
講演会	12月10日	「異界へのまなざし展」開催記念講演会 「魔界京都の『発見』とその後—怪異・妖怪研究への貢献—」講師：小松和彦氏	166人
講 座	12月23日	京都ミュージアムズ・フォー講座「あやかしと魔よけの世界」	82人
〃	12月19日	ぶんぱく京都講座「この方、何者！藤貞幹の学問と情熱」	26人
映 画	11月	（特集）日本のハリウッド京都映画特集	1,755人
〃	11月25日	活弁ライブ：作品「御詠治郎吉格子」 活動弁士大森くみこ ピアノ 天宮遙	141人
音楽会	10月4日	BUNPAKU × KYO-GEI 梶原千聖プロデュース 重なりゆく秋のハーモニー ～室内楽を楽しむ～（昼） ～ストラディバリウスnight～（夜）	350人
〃	10月5日	BUNPAKU × KYO-GEI 佐藤響プロデュース パッサ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会（昼） Cello! Cello!! Cello!!!（夜）	300名
〃	10月12日	3人のピアニストによる ぶんぱくピアノ【YAMAHA CF III】を聴く	150人
〃	12月14日	別館ホール×音楽à la carte ～声楽アンサンブル+北欧伝統音楽+日本の歌+70年代フォークソング～	450人
〃	12月20日	FINAL 矢野百華ピアノコンサート～クリスマスの夢～（昼） BUNPAKU × KYO-GEI レクチャーコンサート ～弦楽アンサンブルの様々な形～（夜）	300人
ライブ	12月7日	京都文化博物館35周年・京まちなか映画祭10周年記念 「ヒゲの未亡人（岸野雄一×Ali）」	51人
その他	10月7・8・9日	京都アート・クラフトマーケット	30,367人
〃	10月11日	EK (EnjoyKyoto) × 京都文化博物館 まちあるき&トークイベント	20人

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

絵画、彫刻、工芸、書、デザイン、写真、華道の作家として活発な創作活動をしている方々の展示の場としての利用や、府民をはじめ広く一般の方々の文化芸

術活動の発表の場としての利用、京物の紹介を目的とした展示会、見本市、内見会等、文化芸術活動の展示公開の場を提供している。

1) 美術・工芸作家の利用

5階展示室は開館以来、6階展示室は1997年7月から、府内に活動の本拠を持つ、または府内にゆかりのある美術・工芸作家の展示の場として利用されてきた。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているも

のとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

今年度については、個展開催も多く、また、海外からの利用もあり、展示の幅が広がった。2023年度の利用件数は、36件であった。

作家利用一覧

会期	展覧会名	分野
2023 4.11 ~ 4.16	第49回京都春季創画展	日本画
4.18 ~ 4.23	ÉCORCE D'ART" DENISE SABOURIN	洋画
4.19 ~ 4.23	第47回日本画春季光玄展	日本画
4.21 ~ 4.23	第31回祐門会能面展	諸工芸(能面)
4.21 ~ 4.23	第35回面風會展-能面狂言面-	諸工芸(能面)
4.25 ~ 4.30	真神巍堂書作展	書
5.2 ~ 5.7	鵜飼愨生個展	書
5.2 ~ 5.7	亀村俊二【日本のこころ〈時空〉】展	写真
5.12 ~ 5.14	第42回辛酉会書展	書
5.16 ~ 5.28	ファーバーアートの15人展	染織
5.23 ~ 5.28	大岩広生個展	彫刻
6.23 ~ 7.2	ART STORY 80th 京都日本画家協会創立80周年記念展	日本画
7.4 ~ 7.9	第76回京都丹平写真展	写真
7.6 ~ 7.9	京都創造藝術協会展	美術総合
8.30 ~ 9.03	第41回六舎會篆刻作品展 與鯉鱗展	書(篆刻)
8.30 ~ 9.03	第28回ファインド・アイズ現代・文人光画展	写真
9.28 ~ 10.1	第42回聚英展	書
9.27 ~ 10.01	徳田嘉孝個展	洋画
10.18 ~ 10.22	京の名工展	工芸総合
10.25 ~ 10.29	選抜 京都墨彩画壇秋季展	日本画
10.25 ~ 10.29	書・十月の会展	書
10.27 ~ 10.29	絵更紗美術協会	染織
11.22 ~ 11.26	第34回工芸美術 創工会展	工芸総合
12.13 ~ 12.17	第19回京都現代写真作家展	写真
12.6 ~ 12.10	第34回「明日へのかたち展」	工芸総合
12.7 ~ 12.10	第30回 光勲能面會展	諸工芸(能面)
12.6 ~ 12.10	第47回 新日美展・京都巡回展	美術工芸総合
2024 1.19 ~ 1.21	Space Story Transportation	写真
2.08 ~ 2.11	水明書道会 第17回 墨聚展	書
2.23 ~ 2.25	京都橘大学 2023年度卒業制作展	書
3.06 ~ 3.10	第一美術 サムホール展	洋画

3.14 ~ 3.17	卒寿をへて、いま 小山静陽卒寿記念展	日本画
3.20 ~ 3.24	第67回 あまがつ会人形展	諸工芸
3.20 ~ 3.25	大阪成蹊大学芸術学部退任記念 阿部緑展	染織
3.21 ~ 3.24	第44回 京都現代書芸展	書
3.27 ~ 3.31	書 中川聖久の線 - line -	書
計 36件 (180日間) 30,613名		

作家利用分野別件数・入場者数一覧

	美術						工芸				美術工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	5	3	10	5	1	1	3	0	4	3	1	36
割合 (%)	14%	8%	28%	14%	3%	3%	8%	0%	11%	8%	3%	100%
入場者数	7,562	757	7,250	4,161	639	469	2,869	0	2,163	4,042	701	30,613
1件平均入場者数	1,512	252	725	832	639	469	956	0	541	1,347	701	850

*諸工芸には、能面・人形を含む。

2) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室および京都府立文化芸術会館展示室を使用するに当たって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・諸工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の

利用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2023年度の委員会は以下のとおり開催した。

展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2023年7月4日	2023年12月～2024年3月	13
2023年11月7日	2024年4月～2024年7月	10
2024年2月20日	2024年8月～2024年11月	7

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準ず

る期間として、美術・工芸作家および技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

生涯学習利用展覧会別入場者数一覧

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2023 4.1 ~ 4.2	創立四十五周年記念 宏志會書展	書	0
	4.6 ~ 4.9	第十回 墨心会水墨画展	日本画	272
	4.6 ~ 4.9	第24回 森小夜子人形教室展	諸工芸	669
	5.9	京都グラフィーWS (視覚)	その他	25
	6.8 ~ 6.11	《十人十色 百透百角》栄美子 戸田ローブとニューゼファーズ キルト展	諸工芸	878
	7.5 ~ 7.9	第37回「竹の会」木版画展	諸工芸	416
	8.23 ~ 8.27	第11回 ハクピ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	381
	9.6 ~ 9.10	上田ミチヨ 創作服・着物リメイク ソーイング教室発表会	諸工芸	526

	9.7 ~ 9.10	第34回 中藤益子画伯とその仲間たち	日本画	445
	9.14 ~ 9.17	関西創玄書道会 創立五十周年記念展	書	964
	10.6 ~ 10.9	創部86年 京都大学 写真部OB展 京都展	写真	290
	10.7 ~ 10.9	第19回 京都ヴォーグ 素敵なニット展	諸工芸	176
	10.7 ~ 10.9	第40回 龍雲会書展	書	434
	10.13 ~ 10.15	SKYふれあい作品展2023 シルバー美術館	(美術) 総合	1,559
	10.27 ~ 10.29	元井三門里展	染織/染色	287
	11.3 ~ 11.5	第60回 仏教美術展	(美術) 総合	1,477
	11.9 ~ 11.12	第56回記念 心象書展	書	1,464
	11.17 ~ 11.19	アンジュ・アカデミー 石井麻子のニットアート展	諸工芸	612
2024	1.19 ~ 1.28	第36回 京都美術文化賞 受賞記念展〈22日休室〉	美術工芸総合	1,720
	2.15 ~ 2.18	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2024 デザイン・建築学課程	(美術) 総合	1,984
	3.1 ~ 3.3	第37回 全国シルバー書道展 京都展	書	534
	3.6 ~ 3.10	第23回 福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術) 総合	505
計21件 使用日数：86日				15,618

※「宏志會書展」(3月31日から4月2日)については、利用件数及び入場者数を4年度に含め、利用日数のみ今年度を含む。

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
6階	2023	4.8 風楽和〈華〉コンサート Vol.11 地歌から現代邦楽	その他	60
		4.15 ~ 4.16 KYOTO GRAPHIE ポートフォリオ レビュー	その他	260
		5.10 体験学習 (落語鑑賞)	その他	120
	5.12 ~ 5.14	第10回ボジャギ工房 koe グループ展 韓国の手仕事 ボジャギ 絹と麻・素材の美	諸工芸	1,230
		5.19 体験学習 (落語鑑賞)	その他	100
		6.3 体験学習 (絵付体験)	その他	134
		6.4 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	134
		6.15 放下鉾保存会	その他	80
		6.18 京都文博 嘶の会 Vol.23 玉川太福 独演会	その他	84
		7.4 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	170
		7.13 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	91
	7.19 ~ 7.20	体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	343
		7.22 信濃白炭 炭師「原伸介」講演会 『ご縁結びは神遊び ~山の神様が授けてくれた出会いの奥義』	その他	60
	7.28 ~ 7.30	第二十四回 片山家能楽・京舞保存財団所蔵 能装束・能面展 ~継承の美~	その他	529
		9.17 京都文博 嘶の会 vol.24 笑福亭松喬 独演会	その他	200
		9.26 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	31
	10.21 ~ 10.22	第39回 文化書道近畿連合会展	書	552
	11.1 ~ 11.3	創業五十五周年記念 昭和の匠 作品展 (染の百趣 矢野)	染織/染色	761
		11.5 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	230
		11.7 体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	170
		11.8 体験学習 (落語鑑賞)	その他	160
	11.18 ~ 11.19	第52回 女流京華会 いけ花展	(美術) 総合	784
	11.25 ~ 11.26	立命館大学書道部 55期生卒部展 「邂逅」	書	125
	12.1 ~ 12.3	美の装い 表具展 絵画を活かす伝統の技/小嶋悠司 平表装展	その他	841
		12.9 京都文博 嘶の会 Vol.25 笑福亭たま 独演会	その他	148
	12.13 ~ 12.17	桃太郎プロジェクト:どんぶらこ、海を渡る。(展覧会)	その他	160
	12.23 ~ 12.24	第一回 花都の會 書展	書	934
2024	1.7	令和六年 知ふみ書道 新春書初展	書	310
	1.11 ~ 1.13	祇園祭山鉾 ご神体人形と装飾品の特別公開 一長刀鉾・橋弁慶山一	その他	400
	2.10 ~ 2.11	第132回京都大学書道部学外書展 冬樟展	書	269

2.15 ~ 2.18	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2024 デザイン学専攻	(美術) 総合	1,534
3.8 ~ 3.10	アルスシムラ 2023年度卒業制作展・第1回同窓展	染織/染色	749
計32件 使用日数：58日			11,753

生涯学習利用分野別件数・入場者数

	和装 呉服	美術							工芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5 階	件数	—	2	—	4	1	1	4	12	1	—	7	—	8	1	21
	日数	—	8	—	17	4	1	15	45	3	—	29	—	32	9	86
	人数	—	717	—	3,396	290	25	5,525	9,953	287	—	3,658	—	3,945	1,720	15,618
6 階	件数	—	—	—	5	—	22	2	29	2	—	1	—	3	—	32
	日数	—	—	—	9	—	34	6	49	6	—	3	—	9	—	58
	人数	—	—	—	2,190	—	4,505	2,318	9,013	1,510	—	1,230	—	2,740	—	11,753

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。

※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

4) 一般の利用

5階展示室および6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

一般利用分野別件数・入場者数

	和装呉服	染織	美術	工芸	その他	小計
5 階	件数	—	—	1	—	1
	日数	—	—	2	—	3
	人数	—	—	1,008	—	1,822
6 階	件数	15	—	—	—	15
	日数	36	—	—	—	36
	人数	1,990	—	—	—	1,990

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業

催事からファッションショーまでさまざまな催事の利用に供している。

近年は、KYOTOGRAPHIEなど、大型展覧会の開催により新たな客層の賑わいが生まれており、ホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

【別館利用状況一覧】

会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
4.1	Kotyエレガントフラスタジオミニミニ発表会	4.8 ~ 4.9	【三条ウッドデッキ】ぶんぱくアートマルシェ
4.2	松峰綾音月の庭 シャンソンと朗読のひととき vol.11 「変わりゆくものへ」	4.14 ~ 5.14	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2023 Mabel Poblet マベル・ポブレット「WHERE OCEANS MEET」 Presented by CHANEL NEXUS HALL
4.6	蝦名摩守俊アコースティックコンサート	5.19 ~ 5.21	山田繊維 むす美 ふろしき SDG s LIFE
4.8	アンサンブル・コントラスト vol.4 「死と生」		

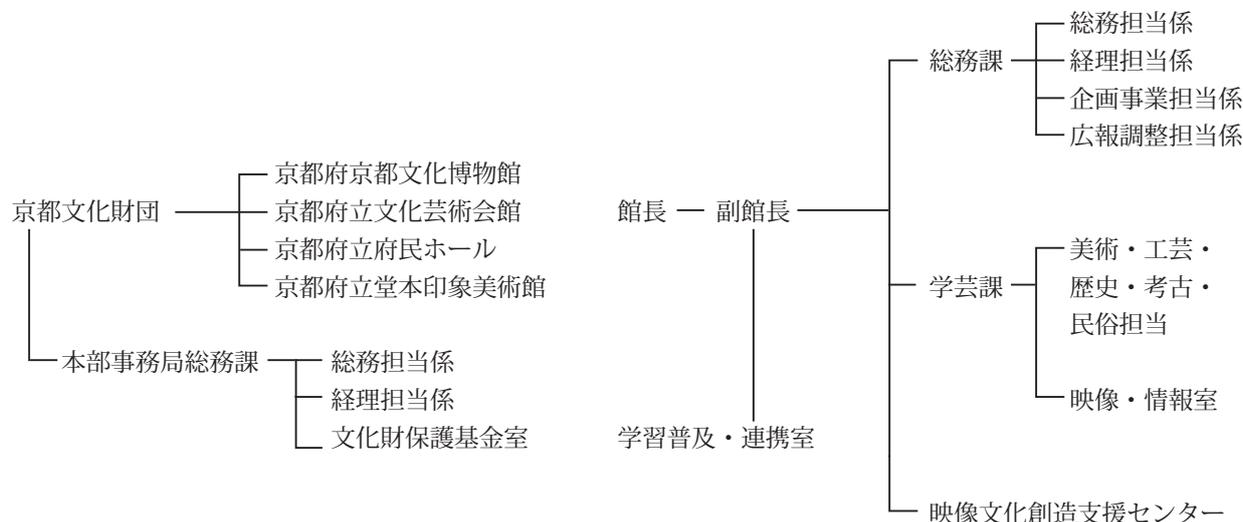
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
5.20	【講義室】ファイバーアートの15人展 併催講演会	8.13	フェリックス室内合奏団第34回演奏会
5.25	通崎睦美コンサート今、甦る！木琴デイズvol.18「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」	8.18	J教授と五つ葉のクローバーコンサート
5.26	京都フィルハーモニー室内合奏団第254回 定期公演B「J.S.バッハ～珠玉の作品」	8.19	第24回 夏のひととき
5.27	Chisato Kajihara Violin Recital	8.20	真夏の夜の夢山崎小夜子コンサート
5.28	染織光悦会	8.22	ヒビキ piano CONCERT TOUR 2023
5.27 ~ 5.28	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	8.23	私たちのSDGs 2023～繊維製品の循環を目指して～ part.1
5/4, 5, 27, 28	【ろうじ店舗空きスペース】 楽紙館 かみっこネイルWS	8.25	京都フィルハーモニー室内合奏団第257回定期公演B 室内楽シリーズ「展覧会の絵」
5.31	【講義室】日本工芸会	8.26	50th Anniversary Live 南佳孝 Soloism 2023
6.1	カリモク家具 2023年ミラノサローネ報告会	8.27	京都バッハ合唱団特別演奏会 VIVA! VIVALDI
6.3	おむろんプラス 2nd Concert	8.30	Yumi Katsura Buyers Collection
6.4	古内東子コンサート	8.19 ~ 8.20	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
6.7	2023年京都モダン建築祭キックオフ	8.29	【2階講義室】日本工芸会 実行委員会
6.9	花結い師× Sachi The Essential	8.6	【ろうじ店舗空きスペース】「SNS医療のカたち」トーク&サイン会
6.10	遊佐未森コンサート	8.21	【ろうじ店舗空きスペース】「葦原海」トーク&サイン会
6.11	フラリーパッド ホールライブ 2023	8.27 ~ 8.28	【ろうじ店舗空きスペース】 楽紙館WS
6.16 ~ 6.18	第41回 建築家展	9.1	山口美央子「月姫」40th Anniversary Live
6.23	Poesia Amorosa イタリアの詩人と17世紀の音楽	9.2	混声合唱団 コーロ・ピアチェーレ創立20周年記念演奏会
6.24	バレエとクラシック音楽によるコンサート「宮廷への誘い～Voyage～」	9.3	平井真美子 演奏会2023「いはひ」
6.25	博物館の夜 butaji と寺尾紗穂	9.7 ~ 9.10	京都・建築家のしごと展その手法と哲学
6.29	Sax in the Night City Tour 2023 【Kyoto】	9.15	ジブシーカルメンズコンサート
6.30	ハッタサロンリハーサル	9.16	泉会 歌の花束
6.18	【講義室】三条まちづくり協議会総会	9.17	Ensemble Sower Concert vol.1
6.21	【講義室】京都画廊連合会総会	9.18	KYOTO TANGO MUSEUM 2023日垂修好125周年記念事業 京都タンゴ美術館 2023
6.17 ~ 6.18	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	9.22 ~ 9.24	第42回建築家展
4.22 ~ 6.25	【ろうじ店舗空きスペース】 宇治観光土産品組合	9.30	Jazz at Sanjo Final Concert
7.1	ART STORY 80th 京都日本画家協会創立80周年記念展シンポジウム「私の憧憬ー京都ゆかりの日本画家を語るー」	9.23 ~ 9.24	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
7.2	ハッタサロン ピアノ協奏曲コンサート	9.10	【ろうじ店舗空きスペース】 大垣書店トークショー
7.7	祇園祭の宵に 岩崎千恵子開軒45周年記念演奏会	9.16 ~ 9.17	【ろうじ店舗空きスペース】 楽紙館WS
7.8	粟辻泰史・紀子 ふたりのリサイタル	9.30	【ろうじ店舗空きスペース】 大垣書店トークショー
7.15 ~ 7/16	オペラ卒塔婆小町	10.1	mama!milk 秋の演奏会 ふたつの組曲
7.17	関西音楽計画 Chap.11.0 弦楽コンサート	10.4	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート MUSEUM コンサート①
7.20 ~ 7.23	Being at home with Claude ～クロードと一緒に～	10.5	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート MUSEUM コンサート②
7.26	萬谷衣里のムジークサロン	10.7 ~ 10.9	京都文化博物館開館35周年記念 京都アート・クラフトマーケット2023
7.28 ~ 7.30	「本山秀毅コーラス・ワークショップ2023」	10.11	学芸課利用 エンジョイ京都
7.14 ~ 7.17	【三条ウッドデッキ】 丹山酒造	10.12	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート MUSEUM コンサート③
7.15 ~ 7.17	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	10.13	アンサンブルあお Autumn concert
7.22 ~ 7.23	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	10.14	京都フィルハーモニー室内合奏団 第258回定期公演B 室内楽シリーズVol.19「哀愁のグリーク 生誕180年」
7.1 ~ 7.2	【ろうじ店舗空きスペース】 楽紙館WS	10.14 ~ 10.15	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
7/23	【ろうじ店舗空きスペース】 くわがきあゆトーク&サイン会 (大垣書店)	10.15	学芸課利用 瓦シンポジウム
8.3	String Octet ～弦楽八重奏曲を京都市立芸術大学学生による盛夏の熱演で～	10.21	【ろうじ店舗空きスペース】 大垣書店トークショー
8.5	シンポジウム「近代京都絵画史研究を振り返る：京都、むかしがたり」〈共催：明治美術学会〉	10.5 ~ 10.25	【別館講義室】日本工芸会
8.6	moumoon Acoustic Concert	10.19 ~ 10.22	【別館講義室】大塚オーミ陶業講演会
8.10	通崎睦美コンサート こどものための木琴デイズ vol.2	10.28	【別館講義室】大塚オーミ陶業WS
8.11	辛島美登里コンサート～時空（とき）のひとひら	10.18 ~ 11.5	転生する超絶技巧大塚オーミ陶業の芸術
8.12	すばる MUSEUM コンサート		

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
11.10 ~ 11.12	KPA メイキング・ワークショップ 2024	1.20 ~ 1.21	【三条ウッドデッキ】 丹山酒造新春甘酒酒粕販売会
11.14	学芸課利用 近代建築WEEK2023 デジタル技術に触れて楽しむ三条通の近代洋風建築群	1.27 ~ 1.28	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
11.15	今、甦る！木琴デイズ vol.19「木琴で愉しむオペラの世界II」	1.20	【ろうじ店舗空きスペース】 大垣書店トークショー
11.17 ~ 11.19	第25回 佐々木真弓・アトリエエンジェルステンドグラスランプ展	2.1 ~ 2.4	Kyoto Art For Tomorrow 2024 京都府新鋭選抜展 特別出品 山本真澄
11.21	第34回 工芸美術 創工会展授賞式	2.10 ~ 2.12	KYOTO 国際アーティストBANK Get together, up and-coming Artists!
11.22	マリッジプランナー挙式利用	2.15 ~ 2.18	京都工芸繊維大学卒業・修了制作展 2024 建築学専攻
11.23 ~ 11.26	Young Architects Conference 2023 ~日本・東南アジアの若手建築家による展覧会~	2.20	牧祐介&江幡遥祐ジョイントリサイタル
11.25 ~ 11.26	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	2.21	京都市立芸術大学古典派音楽研究会第7 回定期演奏会 「こってこてのこてけんきけんで」
11.29 ~ 12.5	貴久樹 天竺展	2.23	京都フィルハーモニー室内合奏団第261回定期公演B「死と乙女」
12.3	【中庭ウッドデッキ】 京都文化博物館開館35周年記念ハンドベルミニ点灯式	2.24	チャラン・ポ・ランタンコンサート
12.6	Amo Italia! 2023イタリアの名バリトン マエストロ ジョルジョ・ロールミと共に	2.25	日食なつこコンサート
12.8	Music Forest 音楽の森 Vol.2 「ジャパニーズソングス」	2.27 ~ 2.28	SEIAN COLLECTION 2024
12.13	マリコレイリマラニ フラ&歌曲 リサイタル ~世界の祈りの曲を、歌い、おどる~	2.29	ARTISTS' FAIR KYOTO 2024 (授賞式・レセプション)
12.14	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート MUSEUMコンサート④	2.17 ~ 2.18	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
12.16 ~ 12.17	THE GIFT BOX 2023	3.1 ~ 3.3	ARTISTS' FAIR KYOTO 2024 関連事業
12.19	歌とリズムの音楽会	3.6	Karimoku Commons Kyoto 1周年記念トークイベント
12.20	京都文化博物館開館35周年記念ミュージアムコンサート MUSEUMコンサート⑤	3.8	【HAPPY BLOOMING TOUR】 PERSONZ neo ACOUSTIC SESSION
12.21	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ よろこびのおとめよ 17世紀イタリア 聖母マリアの賛歌	3.9	妹尾 武 Senoo Sound Tracks vol.12
12.22	Marihiko Hara Piano Concert 2023	3.10	KOKIA Once-in-a-lifetime meeting 「歌参り Kyoto」
12.23	尾崎裕哉 Hiroya Ozaki Christmas Live in Kyoto	3.12	宮沢和史 デビュー35周年 前夜祭ツアー 『春が来たら旅に出よう 風の歌を届けに行こう』
12.24	16th Joyful Bells Handbell Concert	3.14	Corallium Brass Quintet Concert vol.3
12.2	【ろうじ店舗空きスペース】 大垣書店トークショー	3.16	池田綾子コンサート「音の森-春編-」 orange pekieo コンサート「京の春、音の宴」
12.9 ~ 12.10	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	3.17	THE CHARM PARK コンサート
1.6	西村由紀江新春コンサート	3.19	Mogumogu Quintet Vol.3
1.7	田中純プロデュース JMコンサート	3.20	JUGEN 春の乱舞会 in 京都 ①JUGENと弾こう会②Play the JUGEN! ③JUGEN スペシャルライブ
1.8	混声合唱団アンサンブル・アワーズ コンサート 2024	3.22 ~ 3.24	京都今昔きもの大市
1.13	中山うり tempura リリースツアー	3.27	Karimoku Commons Kyoto 鈴木マサルトークイベント
1.14	博物館の夜原田郁子と寺尾紗穂	3.16 ~ 3.17	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
1.20 ~ 1.31	Kyoto Art For Tomorrow 2024 京都府新鋭選抜展 特別出品 山本真澄	2.10 ~ 3.31	【ろうじ店舗空きスペース】 宇治観光土産品組合物販
			入場者数 143,983名

VII 管理・運営

VII - 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係および経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2024年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	高階絵里加	京都大学大学院地球環境学学教授、 京都大学人文科学研究所教授
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事		並木 誠士	京都工芸繊維大学特定教授、美術工芸資料館館長
常務理事	金谷 宗子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長		深尾 憲一	弁護士
理事	植村 幸弘	京都中央信用金庫専務理事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	
	奥野美奈子 金田 章裕	株式会社京都銀行取締役 京都府立京都学・歴史館館長、京都府公立大学 法人理事長	監事	光田 周史	公認会計士
				中村 健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事

【京都文化財団評議員名簿】

2024年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	山極 壽一	総合地球環境学研究所所長	評議員	佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、教授、 学校法人大覚寺学園理事
評議員	池坊 雅史	華道家元池坊総務所事務総長		佐野真由子	京都大学大学院教育学研究科教授
	上原 雅明	学校法人小野幼稚園理事長・園長		潮江 宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授
	内田 奈織	ハープ奏者		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	大西 祐資	京都新聞社代表取締役社長・主筆		中西たえ子	株式会社鼓月取締役会長
	杭迫 柏樹	書家		中村 宗哲	千家十職塗師当代
	金剛 永謹	能楽金剛流宗家		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長
	坂口 博翁	僧侶、一般財団法人京都仏教会常務理事		野崎 貴典	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員	古川 博規	京都府副知事	評議員	吉岡恵美子	京都精華大学副学長、常務理事、教授
	森田りえ子	日本画家、京都市立芸術大学客員教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2024年3月31日現在

所属	職名	氏名	担当業務
	名誉館長	荒巻 禎一	
	館長	山田 啓二	館総括
	副館長	金谷 宗子	館業務総括
総務課	総務課長	田尻 篤子	課総括
	総務課参事（文化財保護基金担当課長兼務）総務担当係長事務取扱	佐藤 幸央	総務担当業務
	課長補佐兼経理担当係長	西村 尚久	経理担当業務
	課長補佐兼企画事業担当係長・文化財保護基金担当係長	海老名 和孝	企画事業担当業務
	担当係長	新谷 婦美子	企画事業担当業務
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務
	主任	竹内 文香	広報調整担当業務
	主事	岡田 友美	総務担当業務
	主事	大矢 亜美	経理担当業務
	主事	武田 依子	企画事業担当業務
	主事	森 麻紀子	広報調整担当業務
	嘱託職員	幸田 光人	企画事業担当業務
	嘱託職員	菅原 有香	広報調整担当業務
学芸課	課長	洲鎌 佐智子	課総括
	映像文化創造支援センター長、映像・情報室長事務取扱	森脇 清隆	映像・情報
	課長補佐 主任学芸員	橋本 章	民俗
	調査役	畑 智子	工芸
	主任学芸員	植田 彩芳子	絵画
	学芸員	林 智子	染織
	学芸員	西山 剛	歴史・文献
	学芸員	村野 正景	歴史・考古
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報
	学芸員	清水 智世	絵画
	学芸員	有賀 茜	絵画
	学芸員	佐藤 稜介	歴史・文献
	学芸員	上村 茉莉絵	デジタルアーカイブ

VII-2 施設

1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月
 (リニューアル工事実施)

敷地面積：4,830.0㎡ (別館を含む)

建築面積：3,646.5㎡ (別館を含む)

延床面積：15,854.7㎡ (別館を含む)

本館床面積：13,591.8㎡

(内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
 塔屋 182.8㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル
 菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903 (明治36) 年9月
 ～1906 (明治39) 年6月

延床面積：2,249.3㎡

別館構造：建築面積……819.7㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積……237.1㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

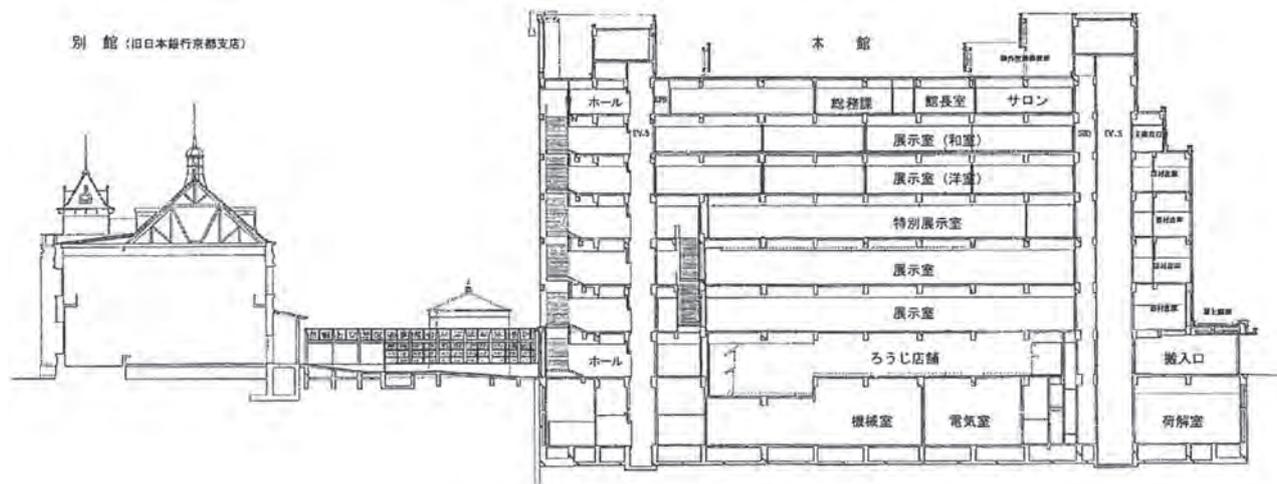
指定：重要文化財

指定名称 旧日本銀行京都支店

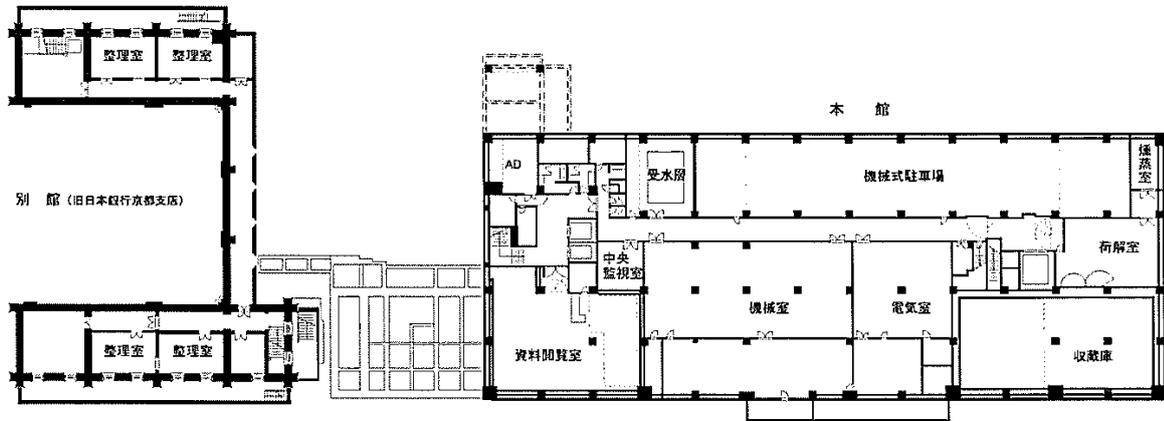
指定年月日 1969年3月12日

指定書番号 建第1,708号

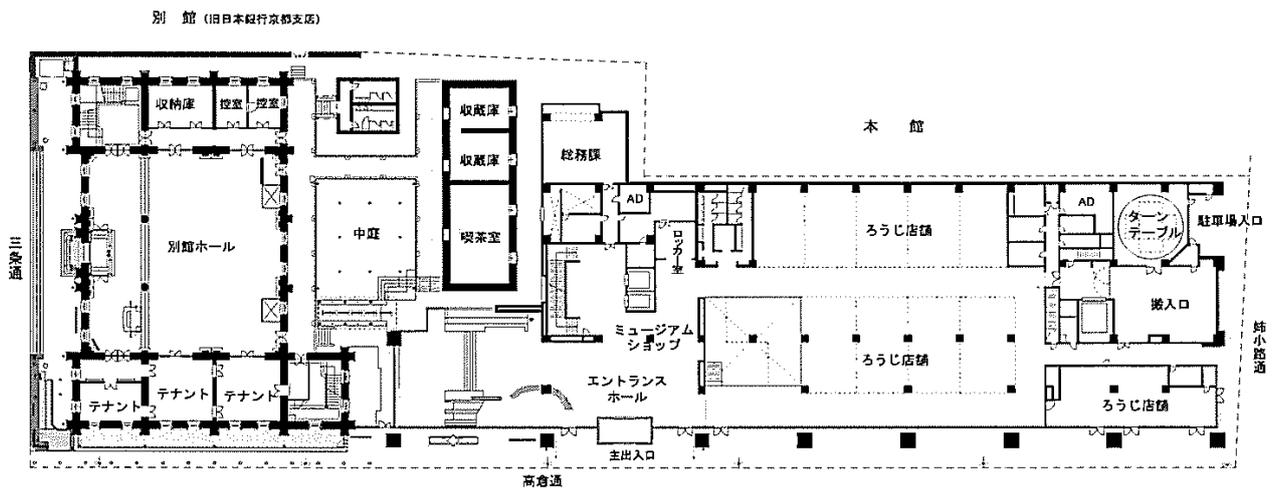
【京都文化博物館断面図】



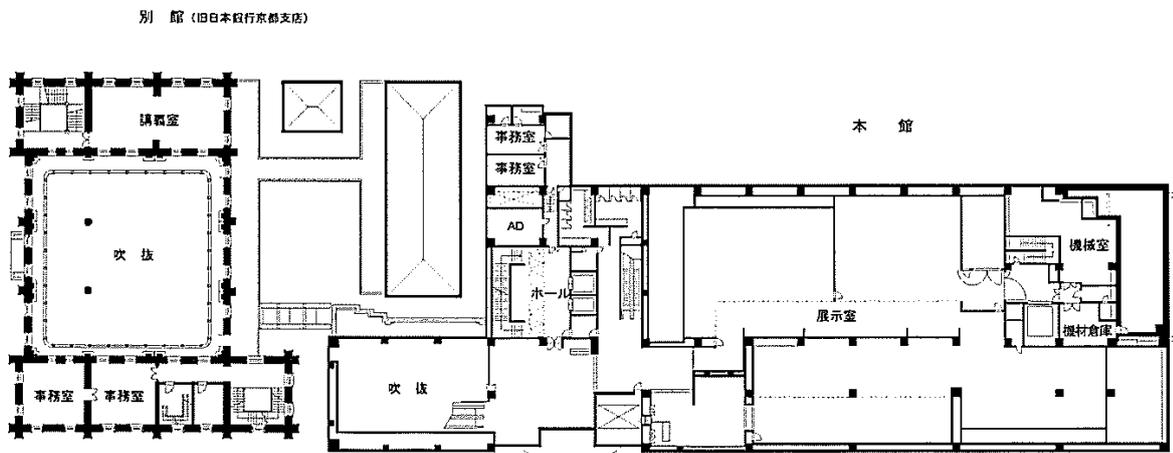
【京都文化博物館 地下1階平面図】



【京都文化博物館 1階平面図】



【京都文化博物館 2階平面図】



VII-3 館内店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の表構えを復元したものである。高倉通側には主に飲食店、西側の路地では物販店を営業している。別館には、明治の洋風建築をそのまま活用した物販店や、旧金庫室を改造した喫茶店があり、京町家の建築

美や近代日本の歴史に触れながら、営業している。また、店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は79,559名であった。

1) ろうじ店舗一覧

- ◇和紙と和紙小物の店 楽紙館
- ◇完全菜食 らめんとおばんざい 松富や 壽 采
- ◇「あめとかふえ とにまる」
- ◇鯨しん IN THE MUSEUM
- ◇京・嵐山上流の蔵 京丹山
- ◇Ququl 京都文化博物館ミュージアムショップ

◆店舗スペース 催事等の活用実績

岩井製菓 宇治観光土産品組合期間限定ショップ	2023年4月22日～6月25日
楽紙館 かみっこネイルで和紙ネイルワークショップ	2023年5月27日～5月28日
楽紙館 かみっこネイルで和紙ネイルワークショップ	2023年7月1日～7月2日
大垣書店 「くわがきあゆさんトーク&サイン本お渡し会」	2023年7月23日
大垣書店 「葦原海さんトーク&サイン本お渡し会」	2023年8月20日
楽紙館 かみっこネイルで和紙ネイルワークショップ	2023年8月26日～8月27日
大垣書店 「地下鉄に乗るっの10年を語るっVOL.2」	2023年9月10日
楽紙館 かみっこネイルで和紙ネイルワークショップ	2023年9月16日～9月17日
大垣書店 「生誕100年 瀬戸内寂聴物語刊行記念トークショー」	2023年9月30日
楽紙館 かみっこネイルで和紙ネイルワークショップ	2023年10月7日～10月9日
京都アートクラフトマーケット R (10) ブース利用	2023年10月7日～10月9日
京都府商工労働部 染織・工芸課 「インド工芸士意見交換会」	2023年10月18日
大垣書店 『『デザインのひきだし』津田淳子トークショー」	2023年10月21日
大垣書店 「安野モヨコ先生『オチビさん』トークショー」	2023年12月2日
大垣書店 「京都を歩けば『仁丹』にあたる」トークショー	2024年1月20日

2) 別館店舗一覧

- ◇前田珈琲 文博店
- ◇和雑貨 一くろちく 文博店
- ◇Contemporary Art JARFO 京・文博
- ◇かばん onomasato

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区分	名称	開催日/期間	参加者数
博和会イベント	35周年記念コラボ企画 「ハンドベルミニコンサート&イルミネーション点灯式」	2023年12月3日	130名
	博和会「文博ろうじの古本まつり」	2023年12月22日～24日	500名
	宇治観光土産品組合期間限定ショップ	2023年2月10日～3月31日	1,227名
	博和会「文博ろうじの古本まつり」	2024年3月20日～24日	750名
博和会キャンペーン	35周年記念コラボ企画 オリジナルグッズプレゼント	2023年10月1日～12月27日	110名

VIII 2023(令和5)年度の のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアターの略

月日	事項	
2023年4月1日	常設上映「銀幕推し活－アイドル映画特集」	～5月31日/FT
4月8日	総合展示「桃山陶器に会う 桃山デザイン」	～6月4日/ 2階
4月15日	総合展示「近現代の型染」	～6月11日/ 2階
4月22日	特別展「四百年遠忌記念特別展 大名茶人 織田有楽斎」	～6月25日/ 3・4階
6月1日	常設上映「【没後30年】映画俳優笠智衆特集」	～8月2日/FT
6月10日	総合展示「～室町幕府滅亡後450年～ 足利将軍、戦国を駆ける！」	～8月6日/ 2階
6月17日	総合展示「～室町幕府滅亡後450年～ 祇園祭－足利将軍が見た山鉾巡行－」	～8月13日/ 2階
6月20日	EUフィルムデーズ2023 映画でつながるヨーロッパ	～7月23日/FT
7月15日	特別展「発掘された珠玉の名品 少女たち －夢と希望・そのはざまで 星野画廊コレクションより」	～9月10日/ 3・4階
7月16日	常設上映「祇園祭記念特別上映」	～7月17日、24日
8月4日	第29回京都国際子ども映画祭	～8月6日/FT
8月8日	常設上映「子どもと大人の眼差し－子ども映画特集」	～8月31日/FT
8月11日	総合展示「徳川家康とその時代」	～10月1日/ 2階
8月19日	総合展示「いけばなの世界展」	～10月15日/ 2階
9月1日	【第43回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール】中島貞夫とその時代	～9月3日/FT
9月5日	常設上映「映画の中の少女たち」	～10月1日/FT
9月17日	常設上映「山中貞雄監督を偲ぶ」	17日/FT
9月23日	特別展「もしも猫展」	～11月12日/ 3・4階
10月3日	常設上映「アウトローなヒーローたち－時代劇篇」	～10月31日/FT
10月7日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝13」	～12月3日/ 2階
10月14日	第45回びあフィルムフェスティバル in Kyoto 2023	～10月22日/FT
10月21日	総合展示「町のちからII－阪東屋町文書の世界－」	～12月17日/ 2階
11月1日	常設上映「【京都文化博物館開館35周年記念企画】日本のハリウッド・京都映画特集」	～11月30日/FT
11月16日	イメージフォーラム・フェスティバル2023 ギャザリング・クラウド	～11月19日/FT
11月25日	企画展「異界へのまなざし－あやかしと魔よけの世界－」	～1月8日/ 3階
11月25日	常設上映「【京都文化博物館開館35周年記念企画】『御詔治郎吉格』活弁ライブ」	25日/FT
12月1日	京まちなか映画祭2023	～12月3日/FT
12月5日	常設上映「【異界へのまなざし展協賛企画】映画にみる怪異の世界」	～12月27日/FT
12月9日	総合展示「日本考古学の鼻祖 藤 貞幹展」	～2月4日/ 2階
12月9日	VIDEO PARTY 2023	～12月10日/FT
12月15日	映画と音楽の時空旅行－クラシックカーニバル×京都ヒストリカ国際映画祭	15日/FT
12月16日	企画展「『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」	～2月4日/ 4階
12月23日	総合展示「シュルレアリスムと京都」	～2月18日/ 2階
2024年1月4日	常設上映「春夏秋冬－四季を刻む映画」	～1月21日/FT
1月20日	「Kyoto Art for Tomorrow 2024－京都府新鋭選抜展－」	～2月4日/ 3階・別館
1月23日	第15回京都ヒストリカ国際映画祭	～1月28日/FT
1月30日	常設上映「松竹下加茂撮影所100年記念特集上映」	～2月29日/FT
2月10日	総合展示「紫式部と『源氏物語』」	～4月7日/ 2階
2月10日	第26回京都国際学生映画祭	～2月12日/FT
2月17日	特別展「コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャネル、ディオール、スキャパレリ 小瀧千佐子コレクションより」	～4月14日/ 3・4階
2月17日	第2回京都映画賞 授賞式・上映会	17日/FT
2月23日	UCF 3 : UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL 3	～2月25日/FT
2月24日	総合展示「雛人形名品展」	～4月7日/ 2階
3月1日	常設上映「アウトローなヒーローたち－現代劇篇」	～3月31日/FT
3月5日	蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭	～3月12日/FT
3月20日	【上映と報告】日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告	20日/FT

京都文化博物館 2023(令和5)年度年報

発行日 2024年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL : 075-222-0888
FAX : 075-222-0889
印刷 株式会社 ITP